

MAKING AI EASY

BY MAKING
SOFTWARE INTELLIGENT

2025年12月期 第1四半期 決算説明資料
2025年5月

ミッション

ソフトウェアをよりスマートに、AIでROIを向上させる





2025年第1四半期
実績と事業の見通し



2025年第1四半期
事業指標



製品の最新情報

2025年第1四半期の総括と第2四半期の見通し



FY25は好調な滑り出し。売上収益成長率が為替ニュートラルベースで前年同期比31%に加速

主要地域における堅調な業績により、売上収益は前年同期比**27%増**（為替ニュートラルベースでは**31%増**）の**94億円**。
北東アジアは、為替の逆風にもかかわらず、日本と韓国における力強い拡大により、前年同期比**37%**の成長を達成。
米国及びEMEAは多様な業種における成長に伴い、前年同期比**32%**の成長を記録。



一貫した事業運営とオペレーティング・レバレッジにより、想定を上回る収益性の改善

AdCreative.aiの買収に伴う一過性の費用にもかかわらず、営業利益は想定を上回り、前年同期比**12%増**の**73百万円**、営業利益率は**0.8%**。
EBITDAも前年同期比**29%改善**し**948百万円**となり、EBITDAマージンは**10.1%**。
一過性の費用を除くと、前年同期比で営業利益は**199%増加**、営業利益率は**2.1%**（為替ニュートラルベースでは**2.8%**）、EBITDAは**45%増加**。
この大幅な利益拡大は、主に継続的な販売及びマーケティングの生産性向上と規律ある研究開発投資によるもの。



経済情勢にかかわらず、今後も力強い成長軌道を見込む

前年同期比の力強い売上収益成長モメンタムは、FY25 Q2以降も継続すると見込む。売上収益成長率の加速は、主要顧客への浸透とAdCreative.aiとの統合の初期段階におけるシナジーによるものであり、プロダクトの提供価値と営業推進力を強化。
事業規模の拡大とオペレーティング・レバレッジ強化により、FY25 Q2以降の収益性の改善を見込む。



AdCreative.aiの統合により、戦略的価値を最大化

AdCreative.aiの当社プラットフォームとの統合を進めており、プロダクトイノベーションと市場開拓の両面でシナジーを発揮。
クロスセルのシナジーを強化するための**プロダクトロードマップ**を策定する一方で、クリエイティブのパフォーマンスを向上させ、
主要顧客へのさらなる浸透を支えるAI機能を強化する。

2025年第1四半期 ハイライト

売上収益

JPY **94億**

売上収益成長率⁽¹⁾

+27%

収益性

営業利益

JPY **73M**

純利益

JPY **35M**

売上総利益成長率⁽²⁾

+26%

ARR⁽³⁾

JPY **368億**

LTM NRR⁽⁴⁾

118.7%

(1) FY24 Q1とFY25 Q1を比較した売上収益の成長率

(2) FY24 Q1とFY25 Q1を比較した売上総利益の成長率

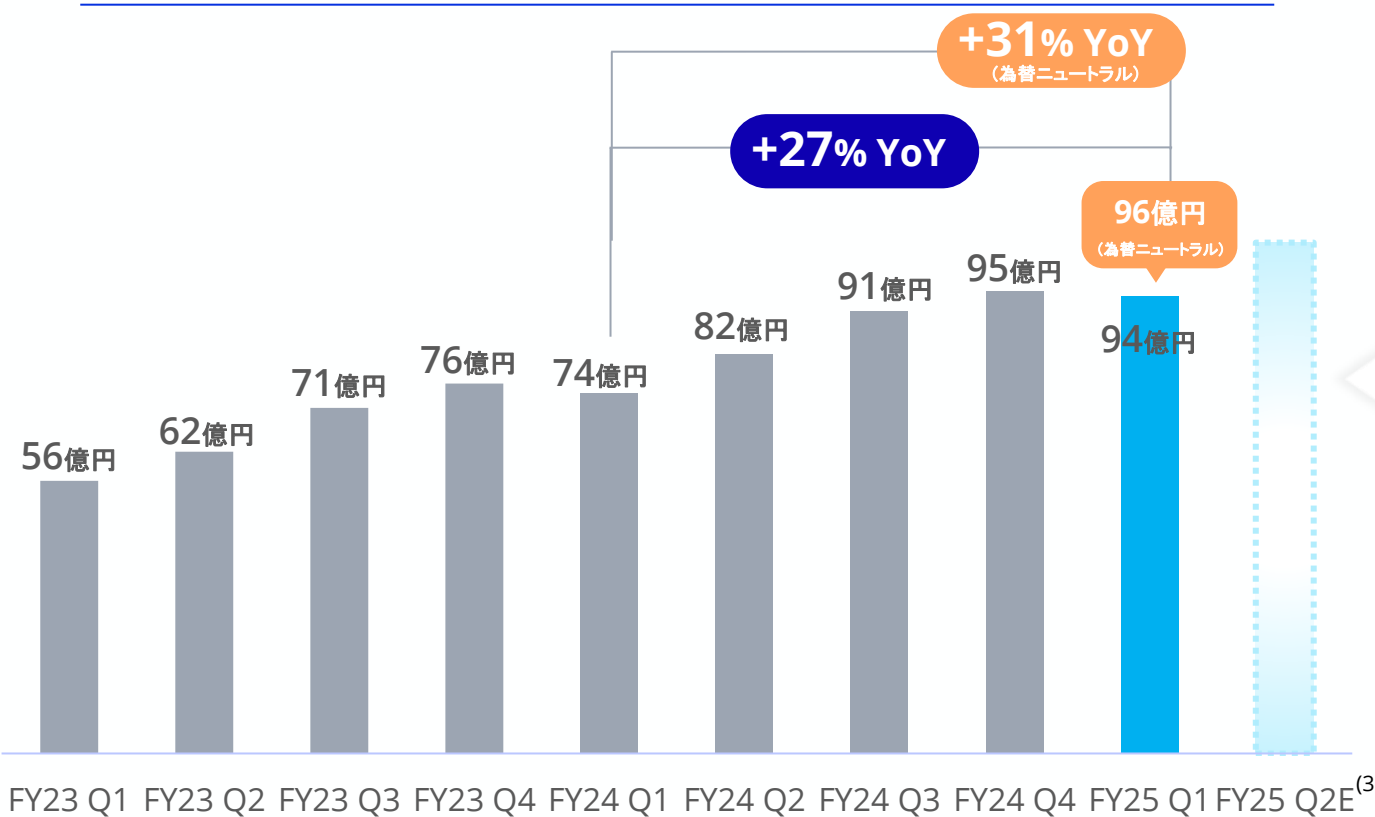
(3) 各ソリューションのARRを合計して算出しており、(i)サブスクリプション形式のソリューション(AIQUA、AiDeal、AIXON、BotBonnie、AIRIS)についての特定の時点におけるARRは、その日付で終了する1か月間の円建ての関連する期間の最終月のリカーリング売上収益(MRR)に12を掛けて算出 (ii) 利用量ベースの価格体系のCrossXlについての特定の時点におけるARRは、その日付で終了する6か月間の円建ての関連する期間の各月のリカーリング売上収益(MRR)の平均に12を掛けて算出

(4) 前年同期に当社ソリューションを利用した顧客からの直近12か月間の売上収益(米国ドル建て)を、前年同期の当該顧客からの売上収益(米国ドル建て)で除して算出

売上収益の推移

- FY25 Q1の売上収益は、日本と韓国における力強いモメンタムによる北東アジアの継続的な拡大、米国及びEMEAにおける業種の多様化に伴う健全な成長により、前年同期比で成長。
- FY25 Q1の売上収益は為替変動による影響を受け、特に円に対するアジア通貨安の影響が、米国ドル高によるプラス影響を相殺。

売上収益(日本円)



FY25 Q1の増収要因

57% 既存顧客から⁽¹⁾

- ▶ 北東アジアのEコマース顧客によるプロダクト利用の増加
- ▶ 米国及びEMEAにおける継続的な成長モメンタム

43% 新規顧客から⁽²⁾

- ▶ 北東アジア、特に日本のデジタルコンテンツとフィンテック業界での新規顧客獲得が加速
- ▶ 業種の多様化に伴う、米国及びEMEAにおける顧客からの強い支持

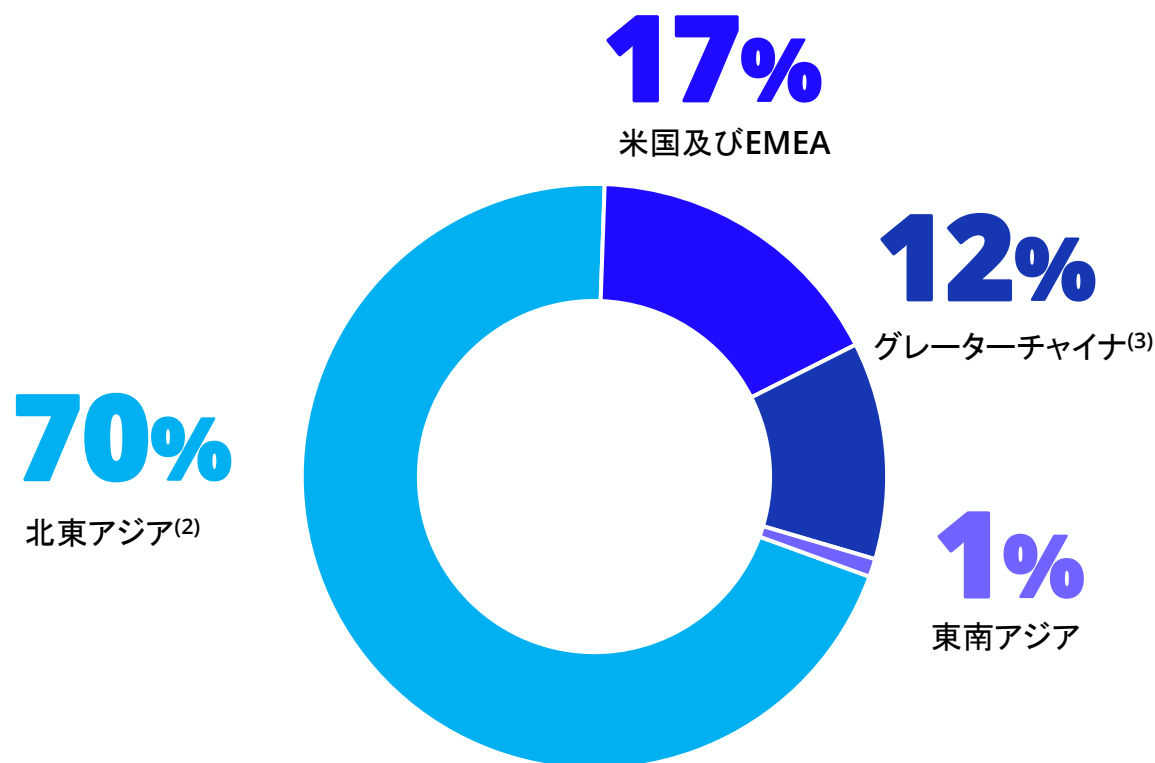
(1) 「既存顧客」はFY24 Q2より前に獲得した顧客を指す

(2) 「新規顧客」はFY24 Q2からFY25 Q1に獲得した顧客を指す

(3) 為替ニュートラルベース

多様な収益基盤：複数の地域における継続的な成長モメンタム

FY25 Q1 地域別売上収益比率⁽¹⁾



(1) 端数処理の関係で合計が100にならないことがある

(2) 北東アジアは日本と韓国を含む

(3) グレーターチャイナは台湾、香港、及び中国を含む

北東アジア

韓国ウォン安による為替の逆風にもかかわらず、既存顧客の堅調な拡大と顧客獲得の加速により、売上収益成長率は前年同期比**37%**

米国及びEMEA

デジタルコンテンツがローシーズンにもかかわらず、ROI重視の顧客の多様な業種における拡大により、売上収益成長率は前年同期比**32%**

グレーターチャイナ

為替の逆風もあり前年同期比で若干減少したが、営業シナジーの確立により、さらなる成長モメンタムを見込む。

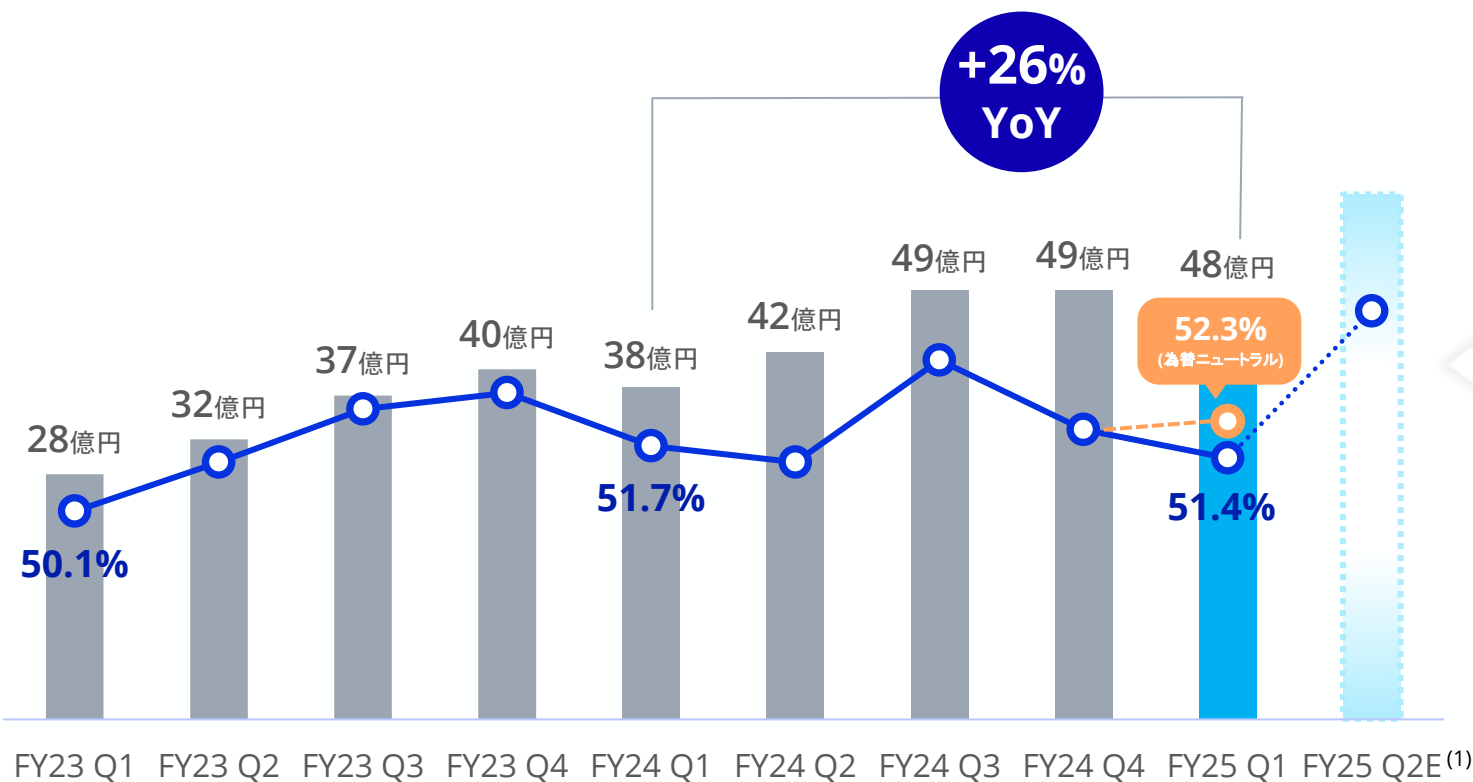
東南アジア

引き続き市場がより成熟するまで主要な顧客に注力

売上総利益

- 為替の逆風、AdCreative.aiの戦略的な取り組み、新規プロダクトの試験運用の季節的な増加にもかかわらず、売上総利益は前年同期比で26%増の48億円、売上総利益率は51.4%（為替ニュートラルベースでは52.3%）を達成。
- FY25 Q2は、利益率の高いプロダクトの構成比拡大と、試験運用コストの季節的な平準化により、売上総利益率が上昇すると見込む。

売上総利益（日本円） & マージン



FY25 Q1 売上総利益率の主な変動要因

ポジティブ要因

- ▶ アルゴリズム改善を含む、技術革新のポジティブな影響

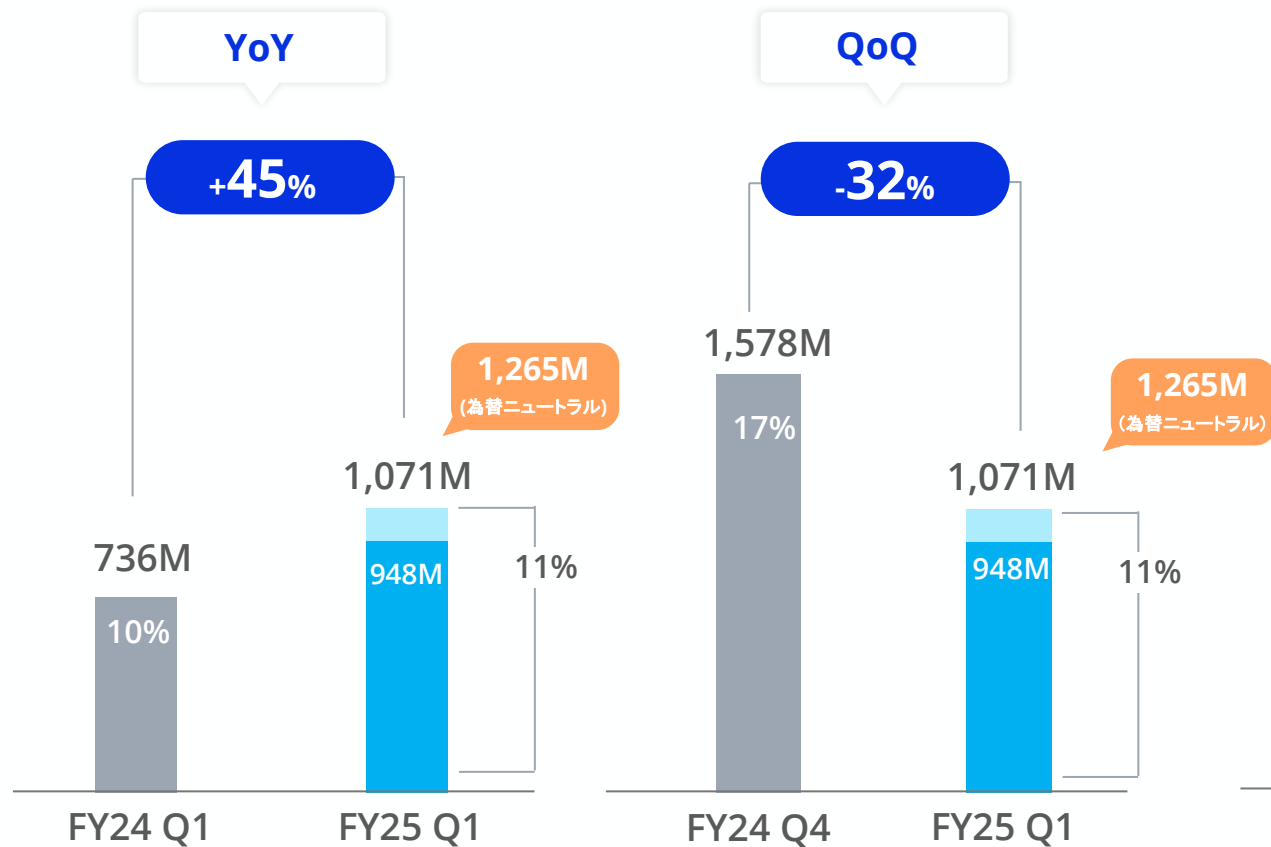
ネガティブ要因

- ▶ 為替の逆風
- ▶ 今後数四半期における利益率拡大を促進するための、AdCreative.aiを含む戦略的なプロダクト試験運用のコスト

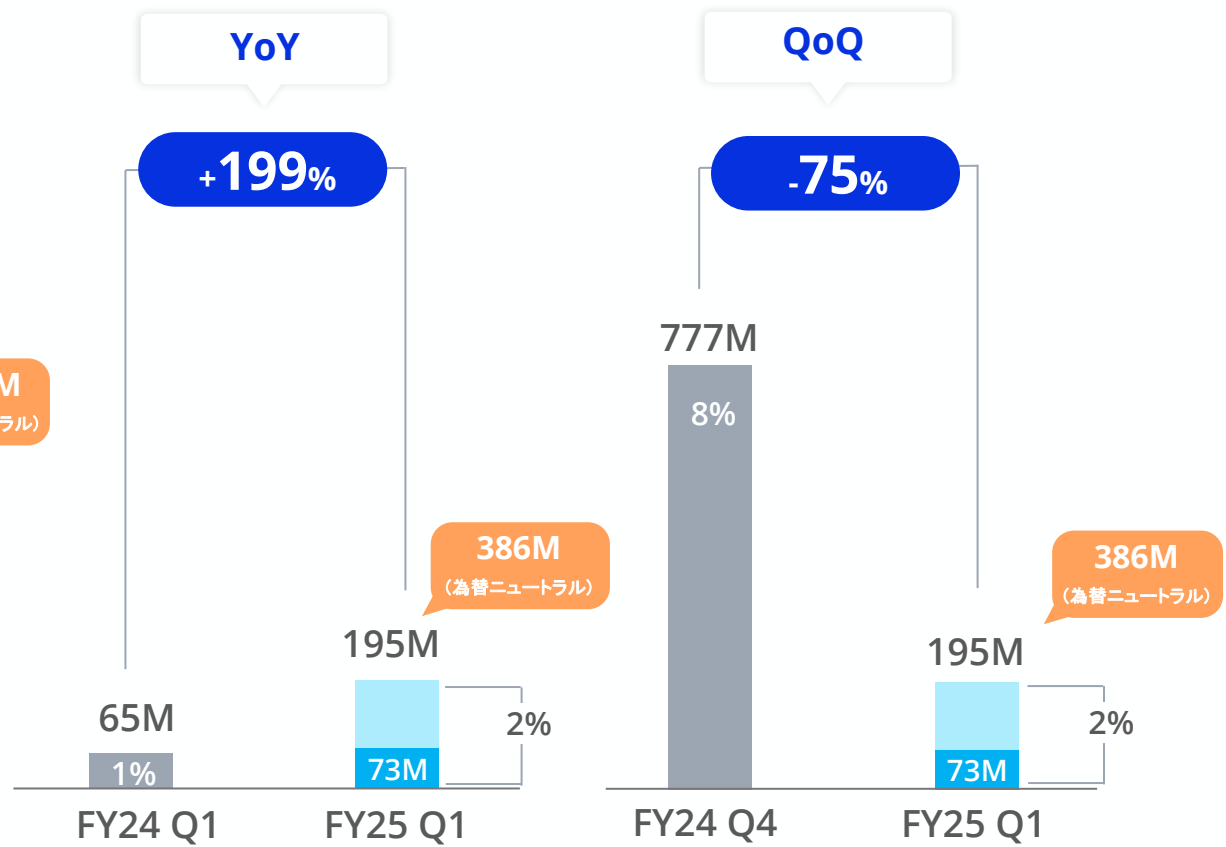
EBITDA & 営業利益

- AdCreative.aiの買収に伴う一時的費用を除くと、為替の逆風にもかかわらず収益性は大幅に改善し、営業利益は前年同期比で199%増加。
- 収益改善は強力なオペレーティング・レバレッジによるものであり、今後もさらなる収益性の改善を見込む。

EBITDA⁽¹⁾ & マージン(日本円)



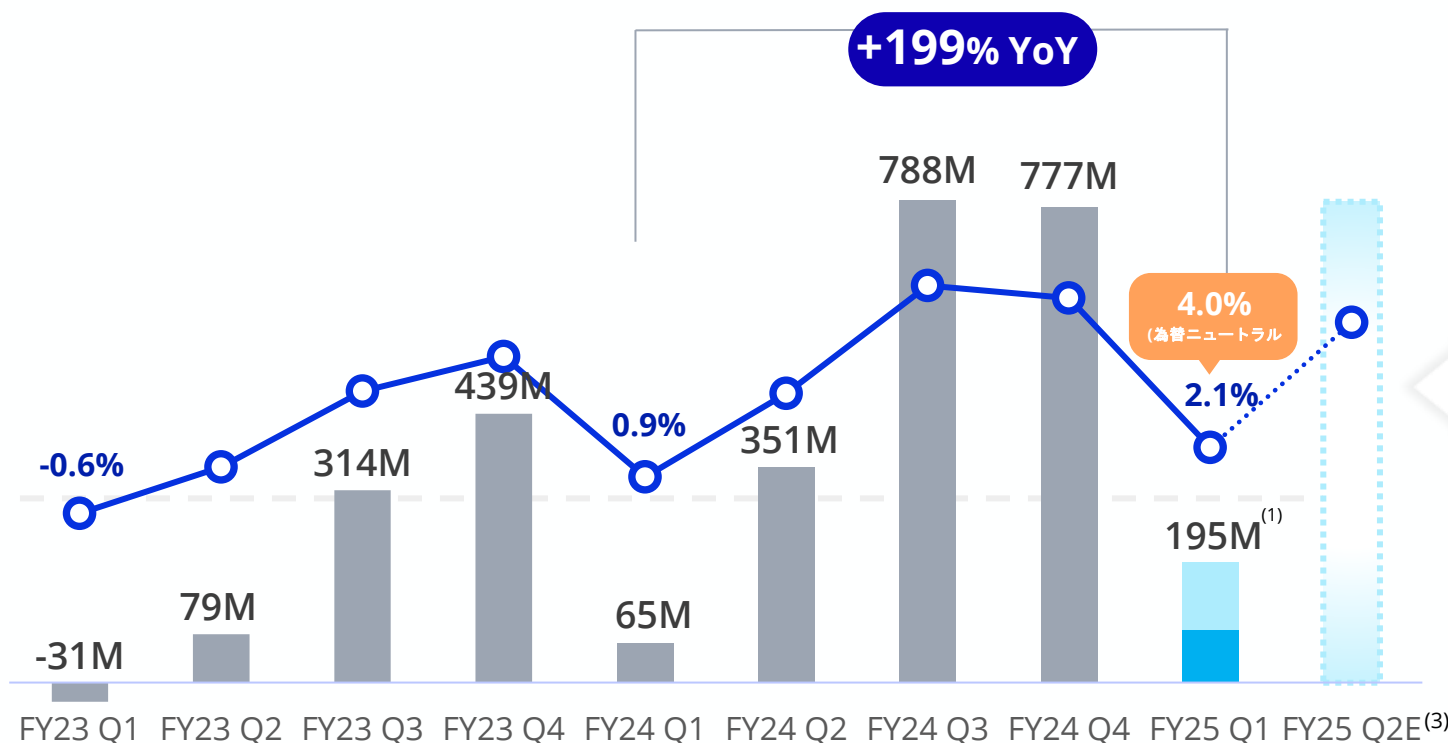
営業利益⁽²⁾ & 利益率(日本円)



営業利益

- 売上収益の季節性による拡大に伴い、営業利益率は例年のパターンと同様に、FY25を通じて継続的に改善すると見込む。
- この改善は、業務プロセスの合理化、開発業務におけるコーディングの自動化、全事業部門にわたるリソース配分の効率化を含めて、AIを活用した継続的なオペレーションの最適化によるものであり、今後さらに加速する。

営業利益 & 利益率(日本円)



FY25 Q1 営業利益率の主な変動要因

前年同期比 (YoY)

- ▶ 営業生産性の向上により、販売及びマーケティング費用(S&M)のオペレーティング・レバレッジが改善
- ▶ 業務効率の改善と規律あるコスト管理
- ▶ ROIを重視した研究開発投資の増加により、販売及びマーケティング費用(S&M)と一般管理費(G&A)のオペレーティング・レバレッジが改善
- ▶ 為替の逆風

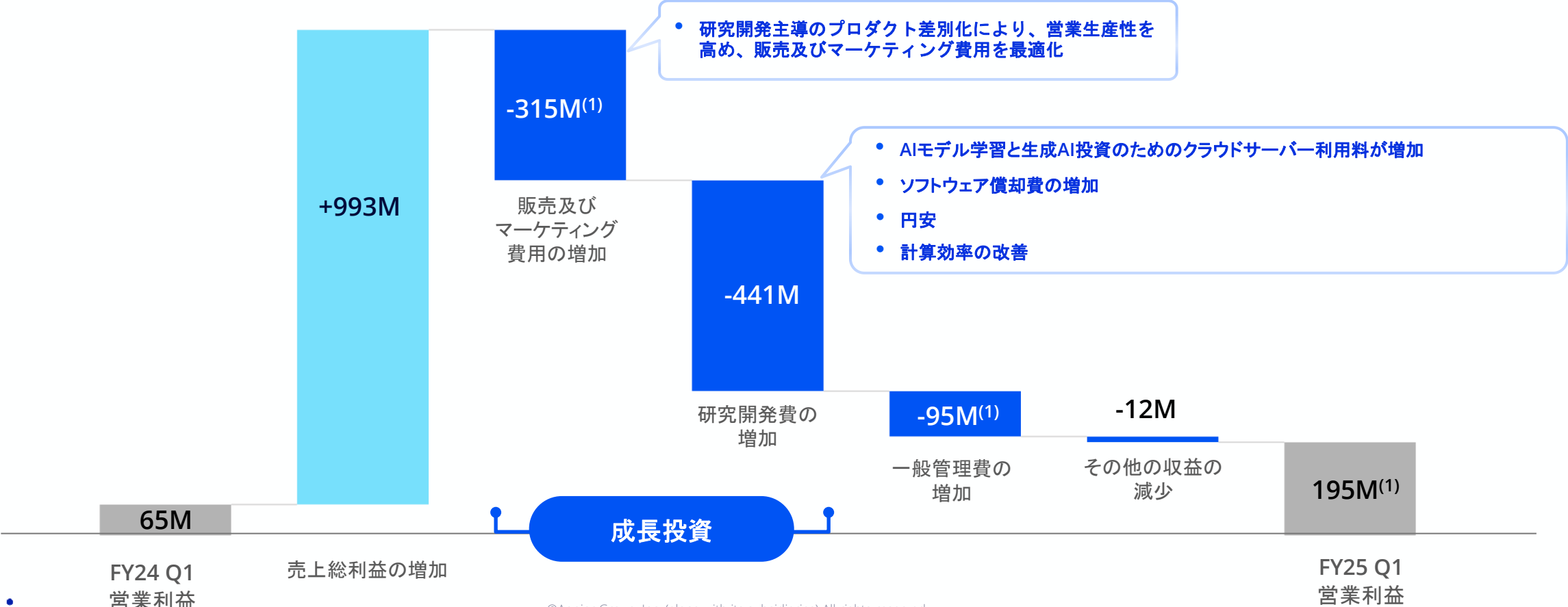
前四半期比 (QoQ)

- ▶ Q1はローシーズンのため売上収益の規模が小さい

2025 Q1 - 営業利益の前年同期からの変動

- 営業利益の増加は、事業規模の拡大と強力なオペレーティング・レバレッジによるもの。
- プロダクトの競争力を高め、持続可能な長期的成長を実現するため、戦略的な研究開発投資を継続

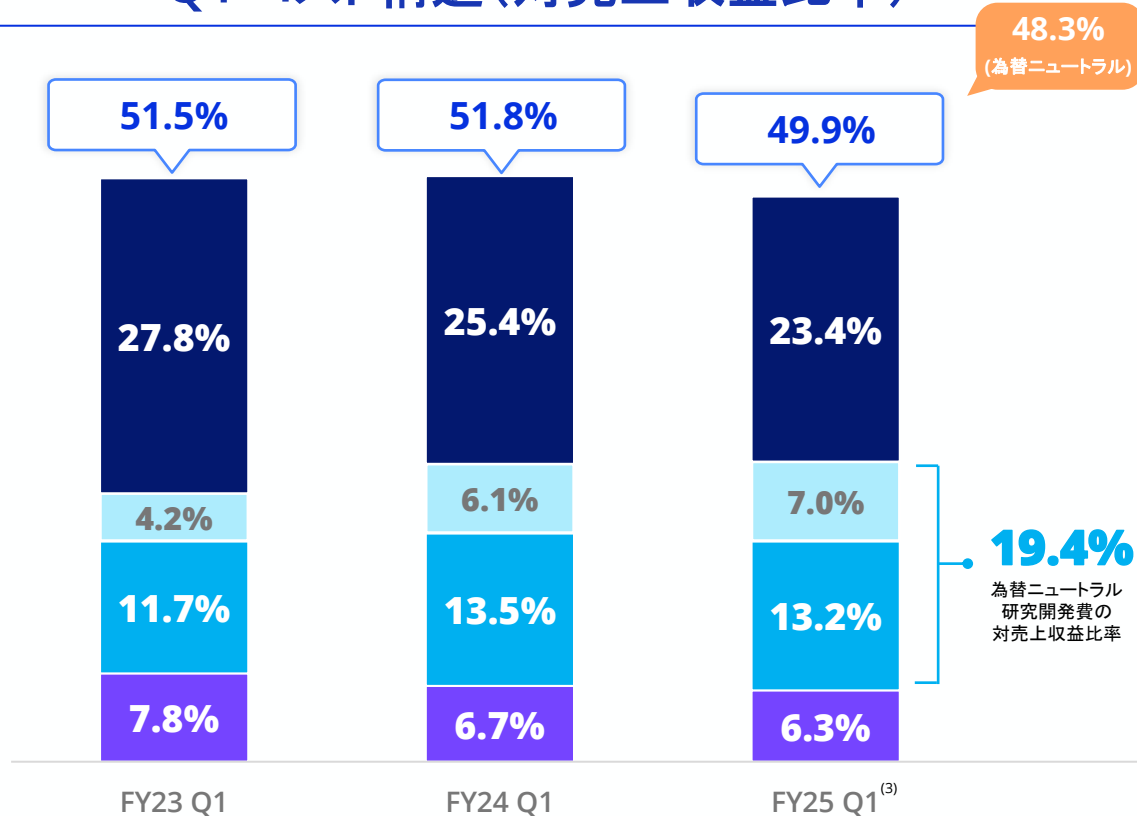
営業利益の変動(日本円)



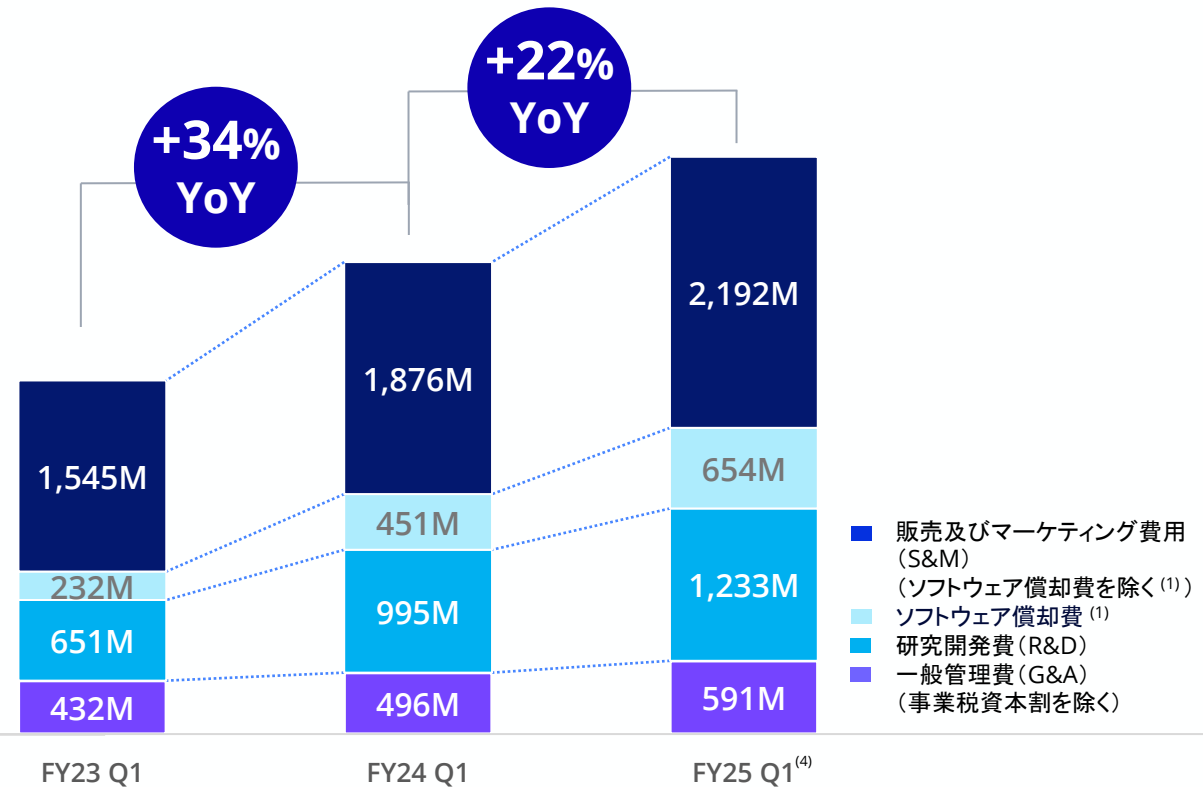
規律ある営業費用

- 規律あるコスト管理と、研究開発投資によるプロダクトの差別化を伴う効率的な売上収益の成長により、営業費用の対売上収益比率は前年同期比で1.8%ポイント改善し49.9%、為替ニュートラルベースでは3.5%ポイント改善し48.3%となり、FY24 Q1の0.3%ポイントの上昇と比較して大きく改善。
- 円安の影響にもかかわらず、AIを活用したプロダクト開発およびオペレーションの自動化と、償却費サイクルの平準化により、営業費用の前年同期比増加率は34%から22%に改善。

Q1 コスト構造(対売上収益比率)



Q1 営業費用(日本円)





2025年第1四半期
実績と事業の見通し



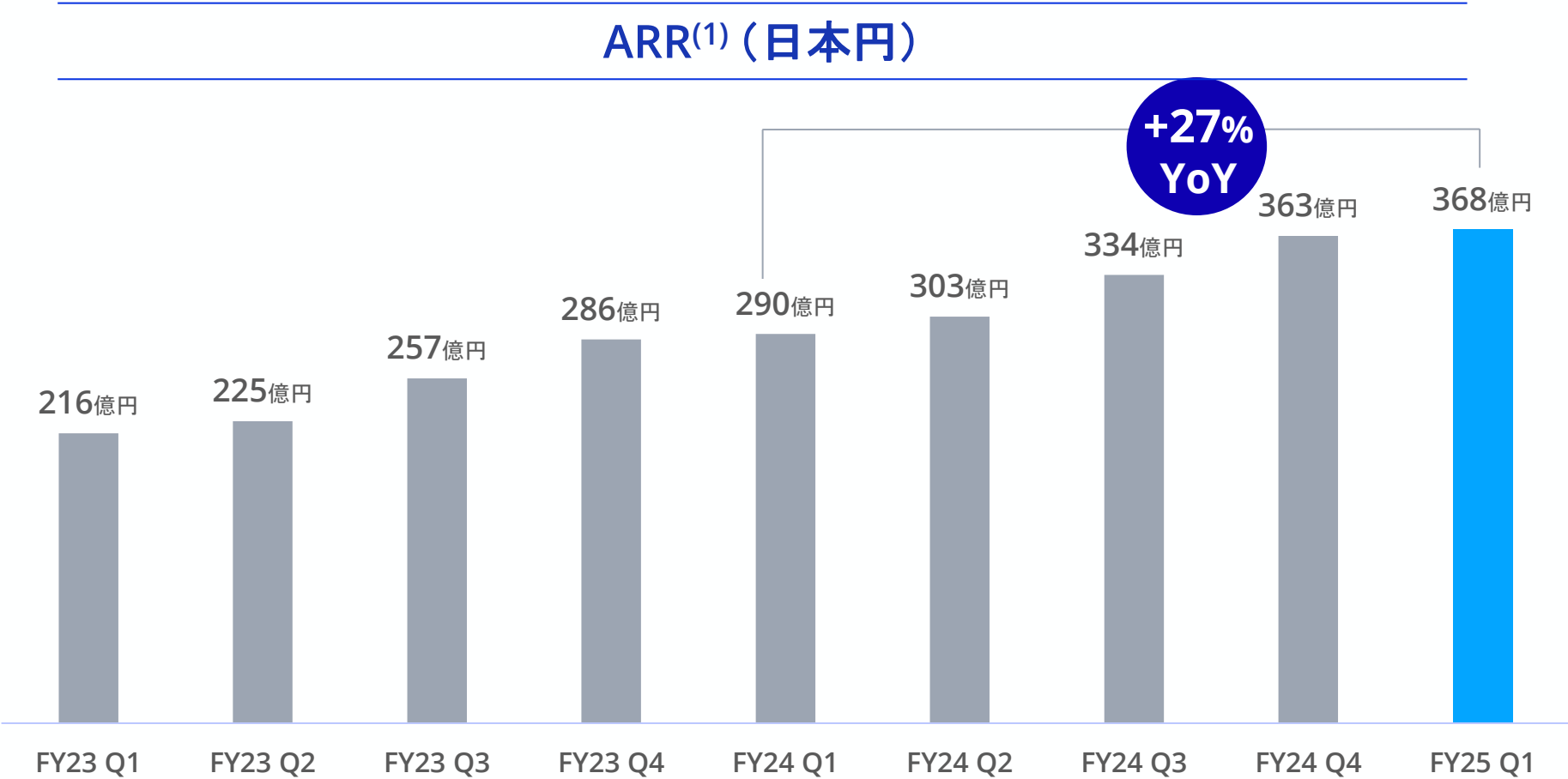
2025年第1四半期
事業指標



製品の最新情報

ARRの四半期推移

- 売上収益のうち、95%以上がリカーリング収益

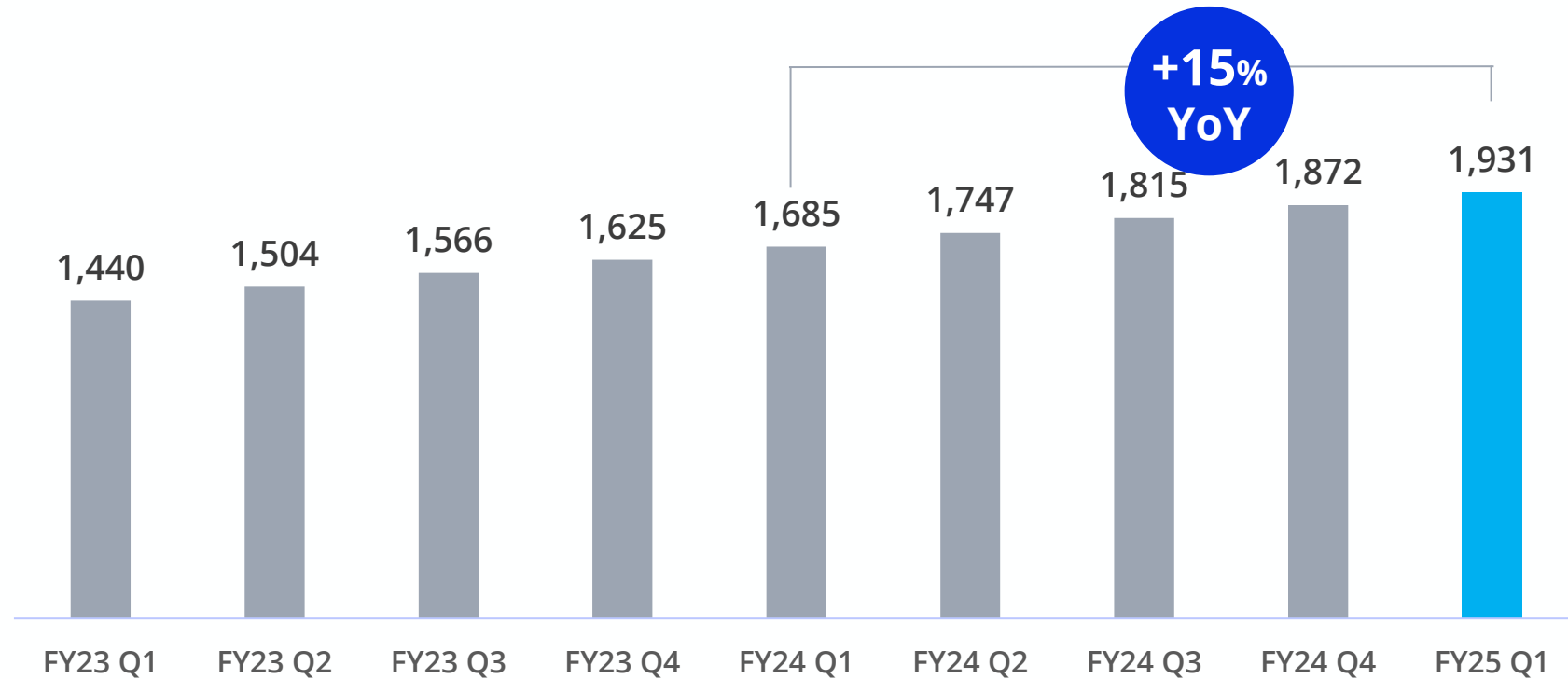


(1) 各ソリューションのARRを合計して算出しており、(i)サブスクリプション形式のソリューション(AIQUA、AiDeal、AIXON、BotBonnie、AIRIS)についての特定の時点におけるARRは、その日付で終了する1か月間の円建ての関連する期間の最終月のリカーリング売上収益(MRR)に12を掛けて算出 (ii)利用量ベースの価格体系のCrossXIについての特定の時点におけるARRは、その日付で終了する6か月間の円建ての関連する期間の各月のリカーリング売上収益(MRR)の平均に12を掛けて算出

顧客企業数の四半期推移

- FY25 Q1に獲得した新規顧客の業種は、主にデジタルコンテンツとEコマース（新規顧客のうち47%がデジタルコンテンツ、22%がEコマース）
- 大規模なエンタープライズ顧客に注力する戦略の中で、顧客数は四半期毎に着実に増加

顧客企業数⁽¹⁾

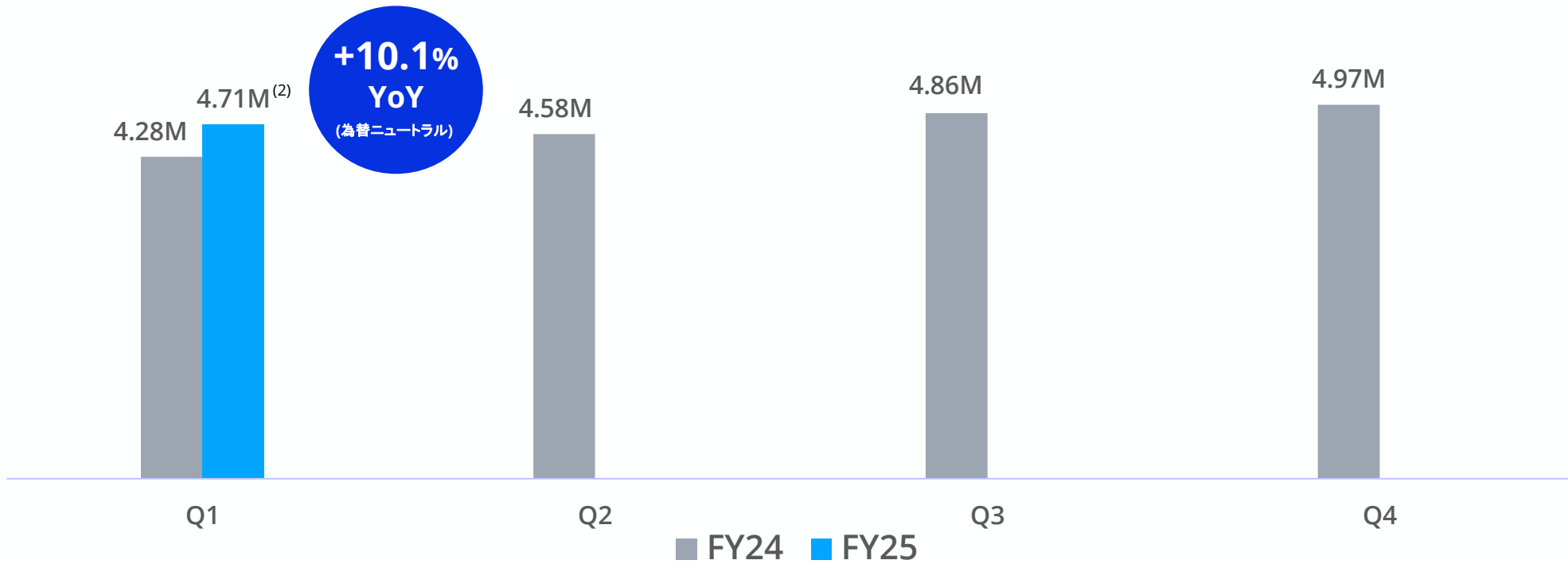


(1) 「顧客企業」とは当社のソリューションに対して1つ以上の有効な契約を結んでいる企業グループを指し、単発利用、有償・無償のトライアル、デモ使用、M&Aにより獲得した顧客は含まない。
企業グループは利用する各ソリューションに関して、個別の「顧客企業」として数えられる。

顧客当たり平均売上収益(ARPC)の四半期推移

- 主にアジア通貨安の影響により為替のマイナス影響を受け、FY25 Q1のARPC成長率は6.9%(為替ニュートラルベースでは10.1%)。
- これは主に、既存顧客の健全な拡大と、ARPCを長期的に成長させる可能性のある大規模なエンタープライズ顧客の獲得に戦略的に注力し続けていることによるもの。

顧客当たり平均売上収益(ARPC)の四半期推移⁽¹⁾ (日本円)



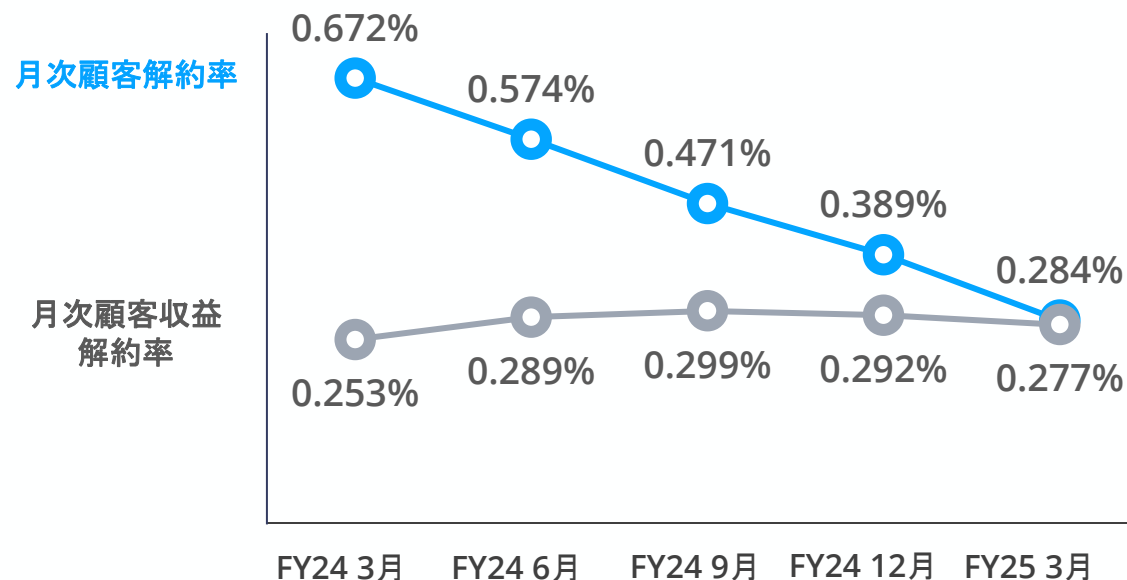
(1) 「顧客企業」とは当社のソリューションに対して1つ以上の有効な契約を結んでいる企業グループを指し、単発利用、有償・無償のトライアル、デモ使用、M&Aにより獲得した顧客は含まない。企業グループは利用する各ソリューションに関して、個別の「顧客企業」として数えられる。

(2) 為替ニュートラルベース

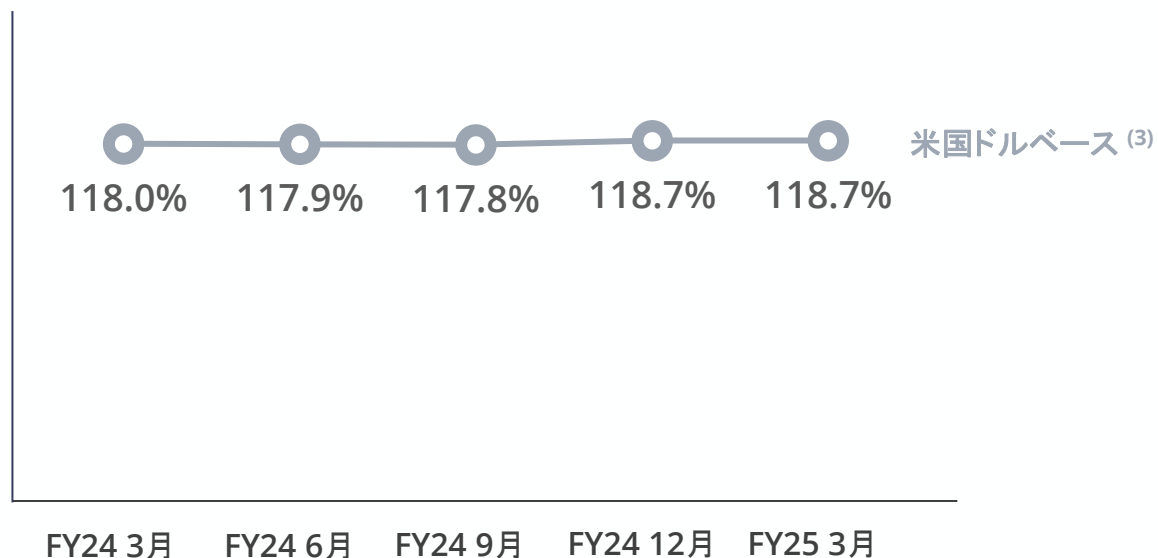
過去最低の解約率と強固なLTM NRRは 当社ソリューションへの顧客ロイヤリティの高さを示す

- 顧客エンゲージメントの強化と、当社ソリューションによるROIの向上により、顧客解約率は継続的に改善
- 主要顧客の健全な成長により、米国ドルベースのLTM NRRは高水準を維持

直近12か月の月次顧客解約率⁽¹⁾及び
月次顧客収益解約率⁽²⁾



直近12ヶ月の
Net Revenue Retention



(1) 月次顧客解約率 = 当月中に当社との取引関係を終了した顧客数を月末時点の全顧客数で割って算出

(2) 月次顧客収益解約率 = 当月中に解約した顧客の契約収益(米国ドル)を全顧客の契約収益(米国ドル)で割って算出

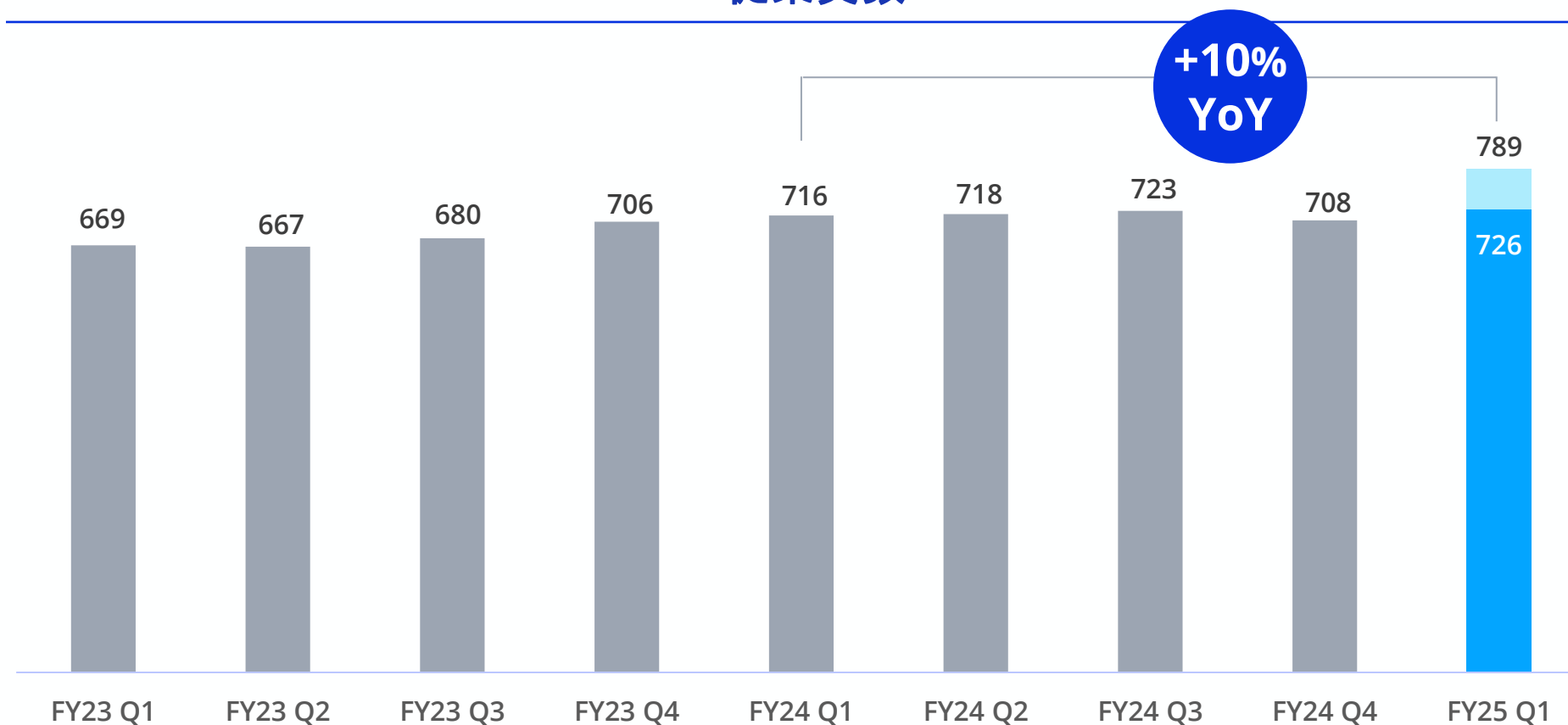
(3) 前年同期に当社ソリューションを利用した顧客からの直近12か月間の売上収益(米国ドル建て)を、前年同期の当該顧客からの売上収益(米国ドル建て)で除して算出

(4) 上記計算にはBotBonnie、Woopra、AdCreative.aiの顧客は含まれていない

成長機会を拡大するための採用活動・継続的な人材投資

- AdCreative.aiの従業員数の統合に加え、FY25 Q1の営業職及び技術職の採用は、特に主要な地域において順調に推移。
- AIによる自動化を通じた業務効率化への継続的な取り組みにより、既存事業の従業員数は小幅に増加。

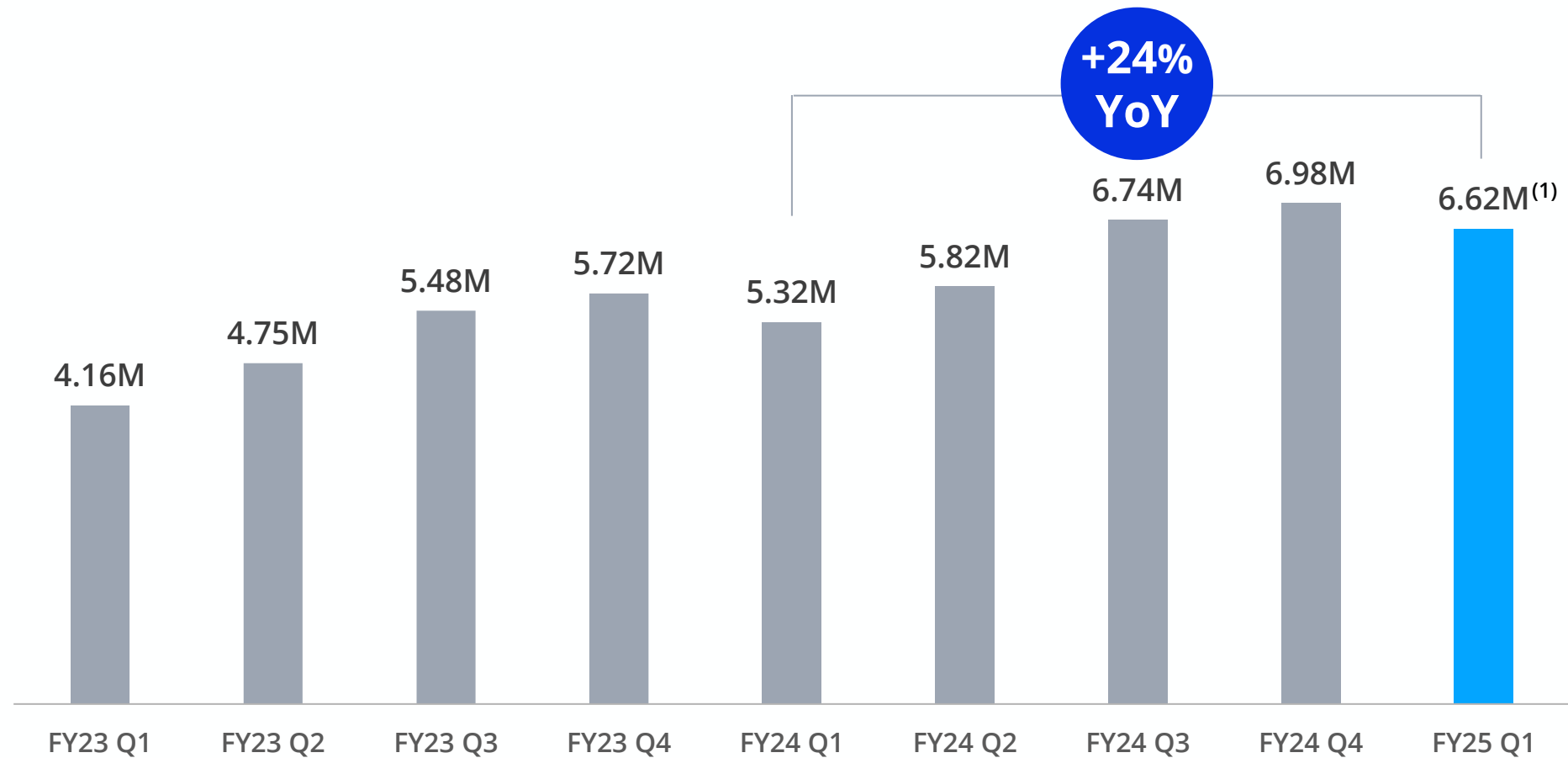
従業員数



生産性の改善

- 生産性向上をさらに強化した結果、FY25 Q1の従業員1人当たりの四半期売上総利益は、前年同期比24%増の662万円

四半期売上総利益 / 従業員数(日本円)





2025年第1四半期
実績と事業の見通し

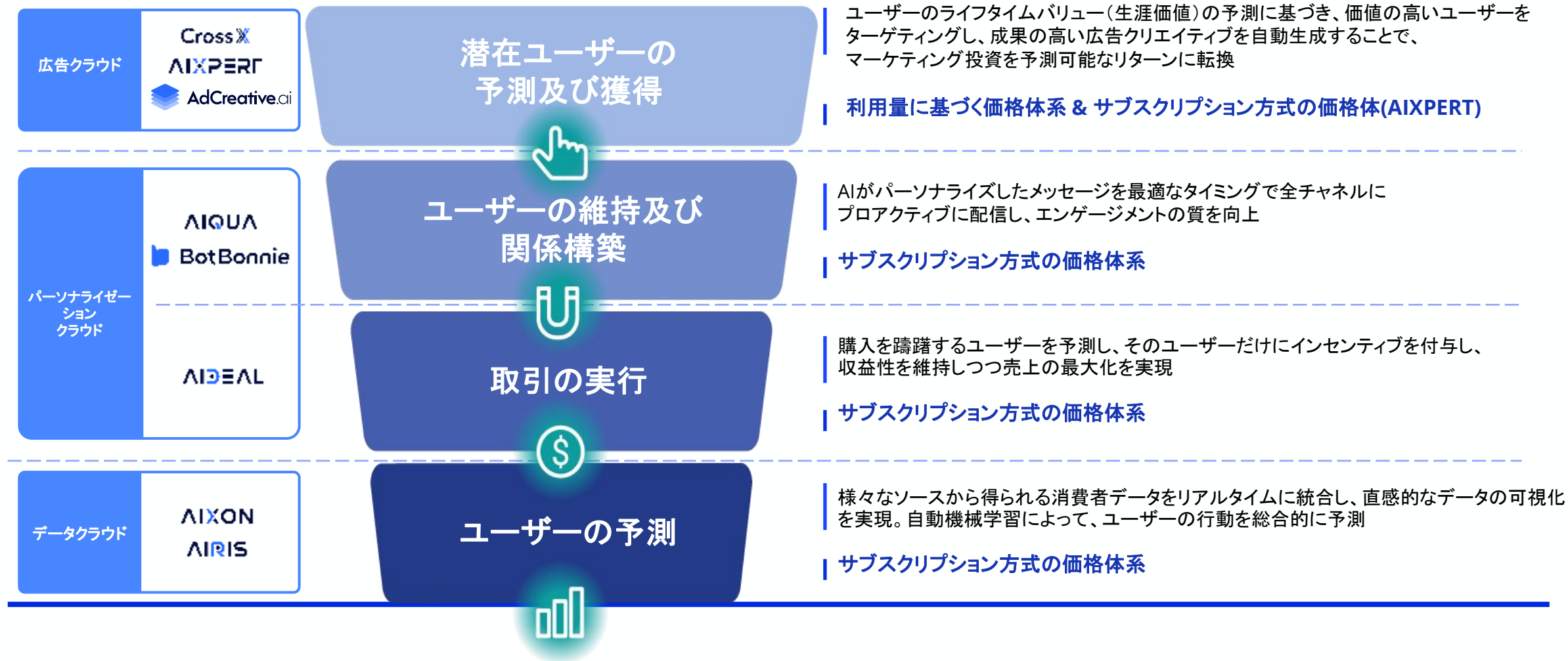


2025年第1四半期
事業指標



製品の最新情報

ファネル全体をカバーする包括的なAI搭載ソリューション



戦略的な市場開拓戦略の実行による AdCreative.aiとの事業シナジーの創出

ローカライゼーション

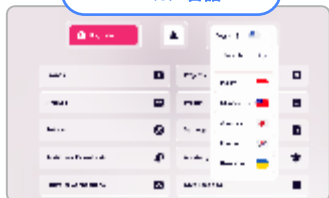


ローカル言語、ユーザー行動、文化的文脈に最適化されたUI、
サービス形態、AIモデルによるローカライズを通じて、
より関連性が高く効果的なクリエイティブ生成を実現



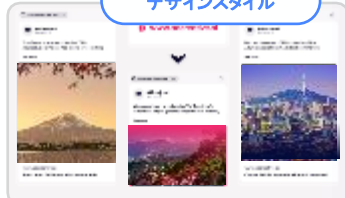
ユーザー インターフェース

ローカル言語



サービス形態

デザインスタイル



AIモデル

文化的ニュアンス



消費者行動

市場開拓



顧客の関心が高く、強固なパイプラインを持つ台湾、日本、韓国で
市場開拓施策を実行し、営業モメンタムを加速



ソウル

東京



台北

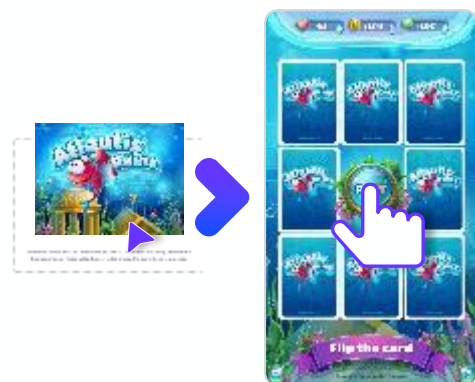


顧客を惹きつける主要な差別化要因

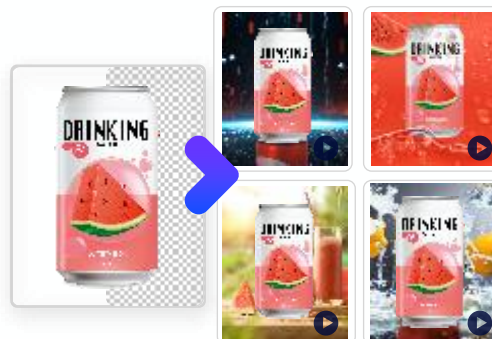
主な機能



プレイアブル広告



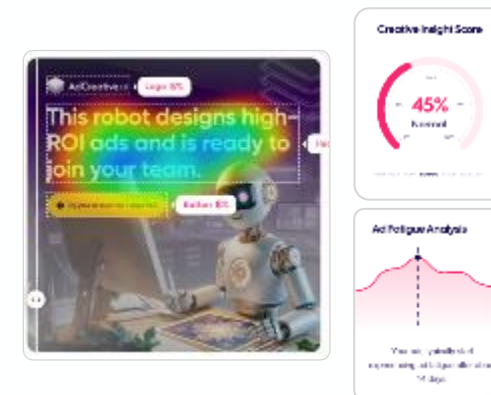
商品動画



ファッション撮影



クリエイティブスコア



プロダクト統合により成長を加速: AppierとAdCreative.aiのシナジー



AIで自動生成されたプレイアブル広告を大規模に展開

AIによりプレイアブル広告の制作を自動化し、時間の節約、コストの削減、迅速なROIフィードバックを実現

With Appier × AdCreative.ai

1時間以内で



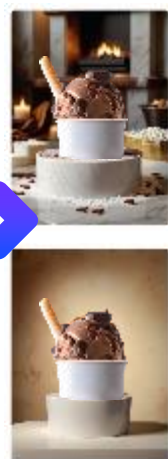
AI搭載のクリエイティブ・スタジオ

AIが生成したビジュアルで顧客エンゲージメントキャンペーンを強化



商品画像

1枚の画像をアップロードするだけで、商品写真を瞬時にプロフェッショナルな撮影画像に変換



ストック画像

複数の形式・サイズで画像を生成し、各プラットフォームに最適なサイズを適用

プロンプト

開かれた本の中にある壮大な世界の城、魔法のような環境、光り輝くページ、幻想的な雰囲気、鮮やかな色彩、精緻なディテール



画像生成

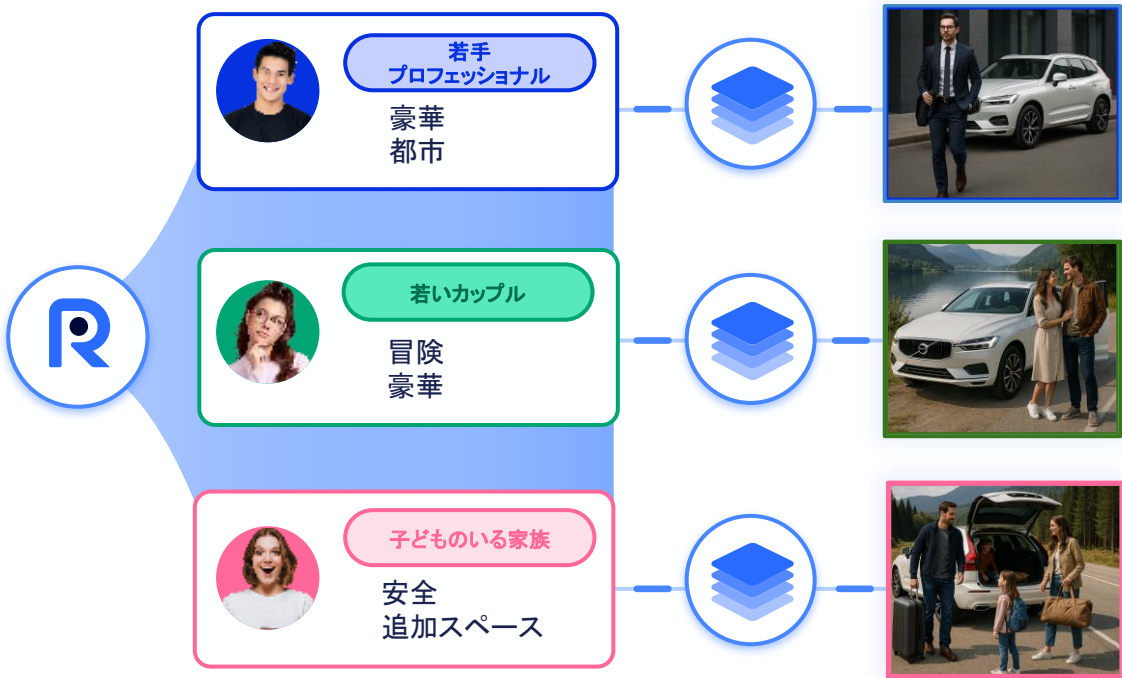


ペルソナに基づくクリエイティブと分析

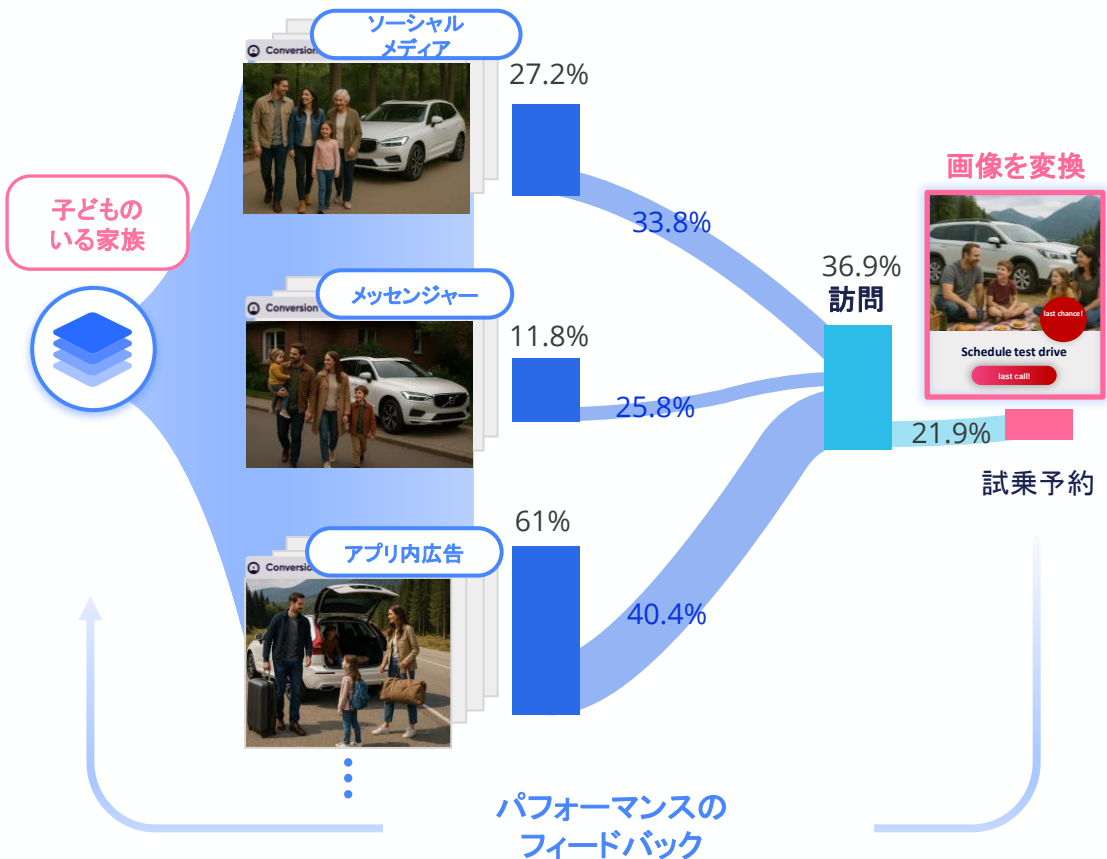


ペルソナに基づくクリエイティブを自動生成し、成果に関するインサイトをフィードバックして、将来の成果をさらに向上

AIRISセグメントから得た顧客インサイトを活用し、高度にパーソナライズされた画像を大規模に提供



AIRIS上でユーザーのコンバージョンジャーニーをリアルタイムに可視化することで、チャネル横断で最も効果的なクリエイティブを特定



MSCI ESGレーティングが“AA”に格上げ

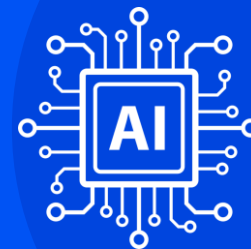


MSCI ESGレーティング AA

Appierは、MSCI ESGリサーチによるレーティングにおいて、初めて「AA」の評価を獲得いたしました。

当社は、「Make AI Easy by Making Software Intelligence」というビジョンのもと、サステナビリティおよびESGの理念を積極的に事業運営と情報開示に取り入れてまいりました。

こうした継続的な取り組みが評価され、特にガバナンス面での優れた対応が認められたことにより、レーティングが「AA」に格上げされました。



AIでROIを向上させる

私たちがプロダクト間のシナジーを高めることは、お客様にとってはデータ間のシナジーを高めることにつながります。私たちが開発してきたAIは、お客様にさらなるROIの向上をもたらします。こうした理念に基づいて、私たちはお客様にあらゆる面から価値を提供し続けています。





Thank you!

Appendix

FY25 業績予想 & FY27 財務目標

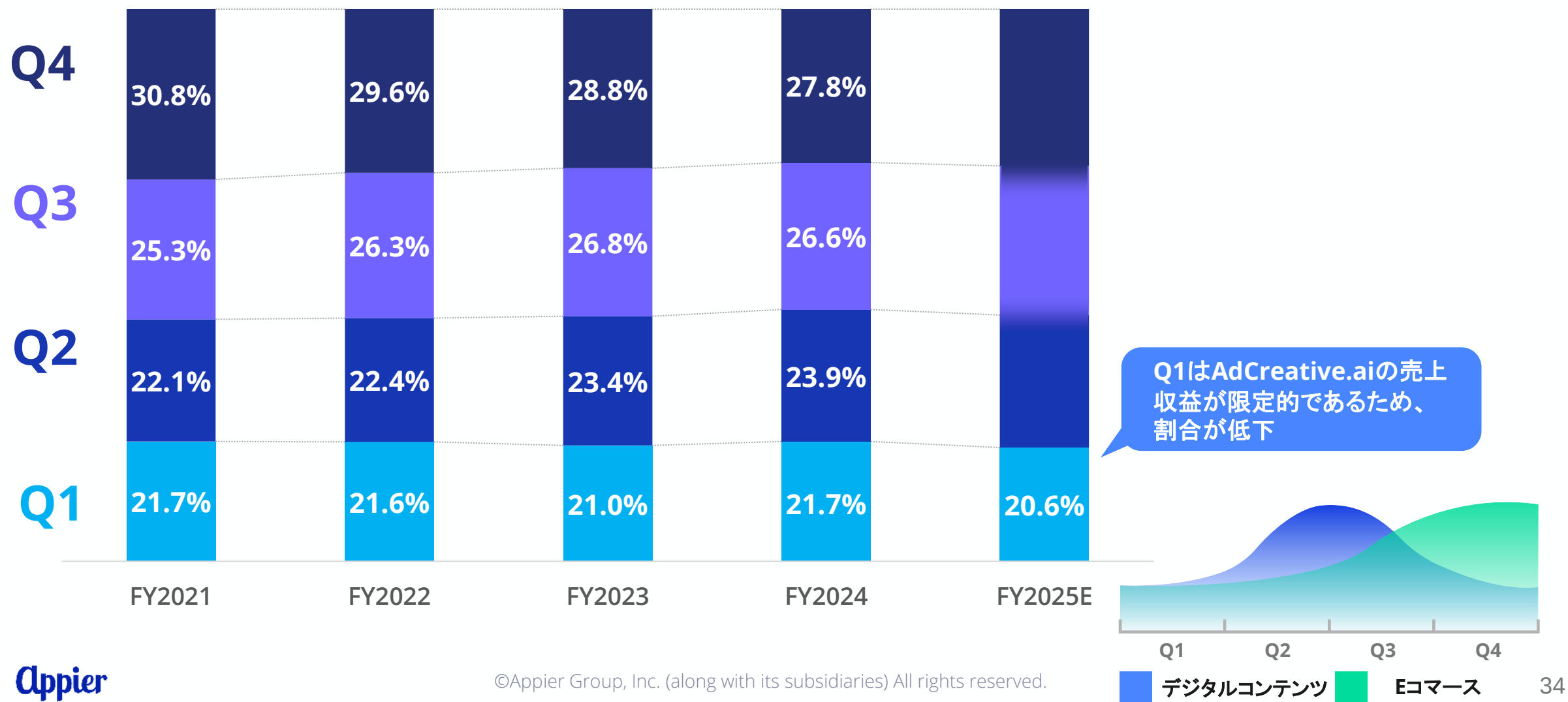
2025年の業績予想

- FY25は革新的な技術の強化という当社のコアバリューを実行し、大規模なさらなる事業効率化を通じて、持続可能で利益を伴う成長を実現するための継続的な事業運営を目指す。また、AdCreative.aiとの事業統合の加速やマーケティング費用の最適化により、利益を伴う成長がさらに加速するポテンシャルを見込む。

	2025 Q1	YoY	2025	YoY	Highlights
売上収益	94億円	+27%	455億円	+34%	- 米国及びEMEAにおける力強い拡大の継続、北東アジアにおける業種の多様化と既存顧客へのさらなる浸透、中国の海外向け事業の継続的な成長によるグレートチャイナの着実な回復 - 買収により加速した生成AI技術開発は、プロダクト間のシナジー強化に伴い、地域拡大とクロスセルを牽引
売上総利益	48億円 51.4%	+26% -0.3 p.p.	252億円 55.3%	+41% +3.0 p.p.	継続的なAIの予測精度向上、プロダクトミックスの改善、AdCreative.aiの統合により、利益率改善の加速を見込む
営業利益	1億円 0.8%	+12% -0.1 p.p.	41億円 8.9%	+104% +3.1 p.p.	- 既存事業の営業利益は48億円（営業利益率11%） 既存事業のEBITDAは84億円（EBITDAマージンは20%） - 生産性の向上による強力なオペレーティング・レバレッジにより、販売及びマーケティング費用と一般管理費用の対売上収益比率改善を加速
EBITDA	9億円 10.1%	+29% +0.1 p.p.	78億円 17.1%	+58% +2.7 p.p.	- 規律を持ったコスト管理を維持しつつ、顧客満足度を高め、成長を加速させるため、プロダクト強化を目的とした研究開発投資を増加 - AdCreative.aiの収益性を徐々に改善させることで、長期的な利益率をさらに高められる可能性を見込む
配当	1株当たり2.25円 期末配当予想				コア・フリー・キャッシュ・フローの改善を見込み、配当額を増加

四半期毎の季節性

売上収益の四半期別内訳



FY27 中期見通し

事業拡大のための投資と株主価値向上のバランスを取りながら、持続可能な利益を伴う成長を実現

売上収益
JPY 341億

営業利益
JPY 20億

2024

売上収益 2倍

営業利益 5倍

売上収益
JPY 700億+
売上収益成長率
27-31%⁽¹⁾
CAGR

営業利益
JPY 90-110億+
純利益
JPY 70-90億+

2027

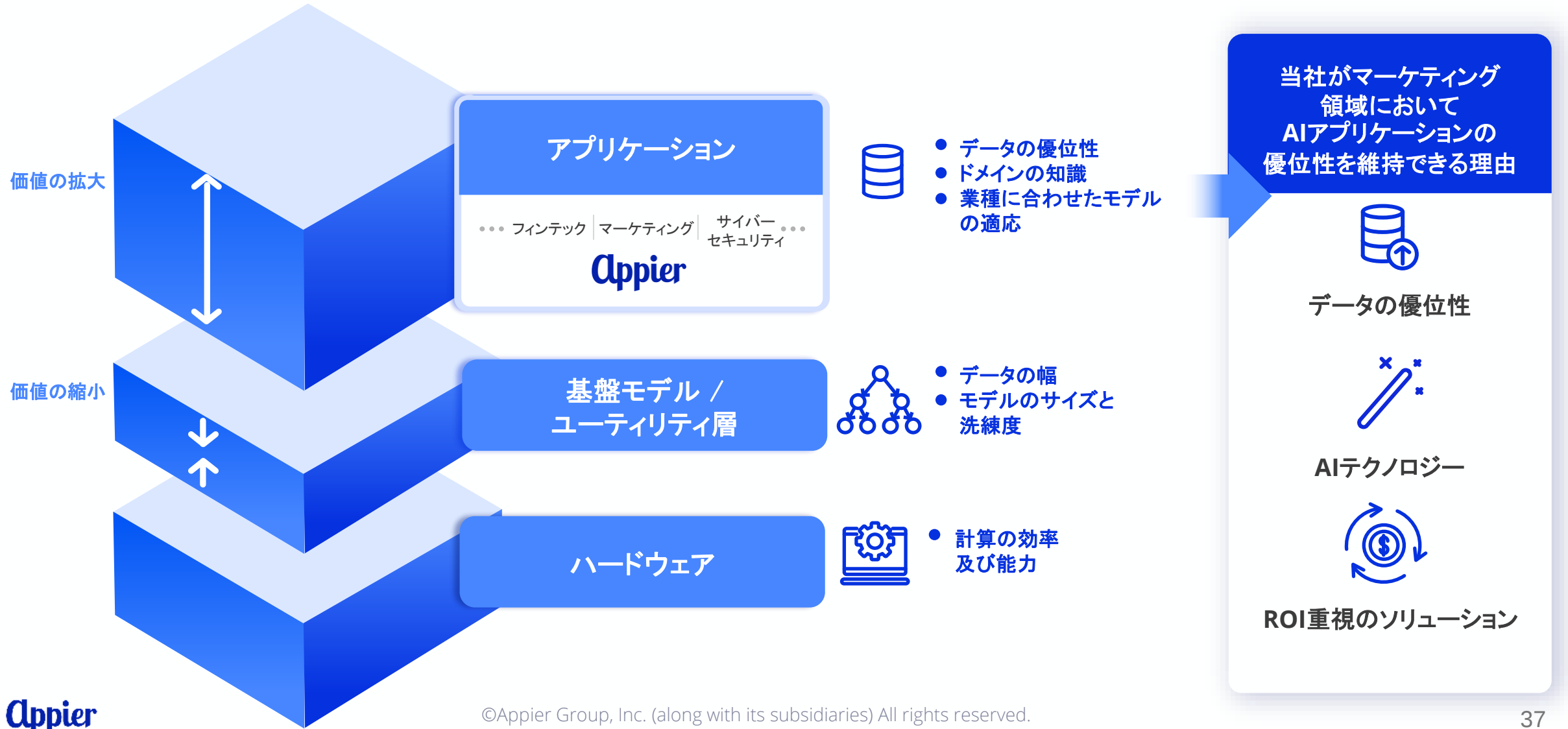
収益源の拡大・多様化に向けた成長ドライバー



(1) 主要顧客とは、年間10百万ドル以上の収益貢献がある顧客を指す。

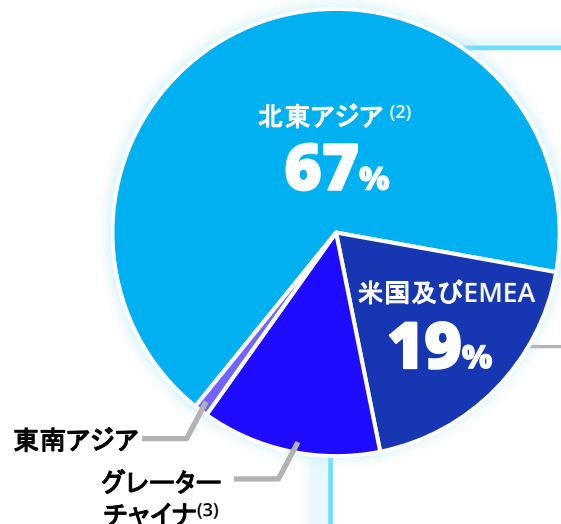
AI業界における価値転換

- AI アプリケーションの領域における当社のユニークなポジションは、データの優位性、差別化されたアルゴリズム、ドメインの知識により強化されている。



主要重点地域における堅調な拡大

FY24 地域別
売上収益比率 (1)



北東
アジア

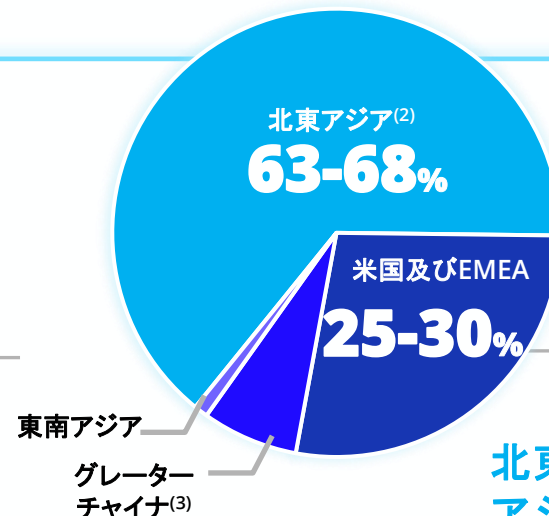
2025

- 売上収益の大半はEコマース
- 韓国のデジタルコンテンツの拡大
- 日本における業種の多様化

米国
及び
EMEA

- 売上収益の大半はデジタルコンテンツ
- 米国のEコマースの拡大
- AdCreative.aiの顧客基盤を活かした欧州域内での事業拡大

FY27E 地域別
売上収益比率



北東
アジア

2027

- +25-35% CAGR (4)
- Eコマースとその他の業種によるバランスの取れた成長ドライバー
- 多様な業種で新たな主要顧客を開拓

米国
及び
EMEA

- +35-45% CAGR (4)
- Eコマースをもう一つの売上収益成長ドライバーに
- 新たな主要顧客からの収益源を拡大

AIを活用した生産性向上により、売上総利益率を改善し、オペレーティング・レバレッジをさらに強化



事業概要

AIとビジネスに精通したメンバーから構成される創業者主導の経営陣

創業メンバー

ビジネスリーダー

受賞実績



Dr. Chih-Han Yu

最高経営責任者(CEO)

スタンフォード大学
ハーバード大学



Dr. Ming-Yu Chen

最高技術責任者(CTO)

Microsoft, Zillow, Compass



Dr. Joe Chang

最高戦略責任者(CSO)

McKinsey & Company,
IQVIA



Koji Tachibana

ファイナンス担当Senior Vice President
Head of Japan

DeNA, 野村證券, 経済産業省



Magic Tu

グローバルセールス担当
Senior Vice President

HTC, Synopsys



Joe Su

最高情報責任者(CIO)

ハーバード大学



Dr. Winnie Lee

最高執行責任者(COO)

スタンフォード大学
ワシントン大学



7 回優勝

データマイニング
コンテスト (1)
(2008 - 2020)



Top 50

AI革命を牽引する50社
(2017)



Singular ROI Index
(2025)



AI100

CB Insights
(2017, 2018)



Cool Vendor in AI

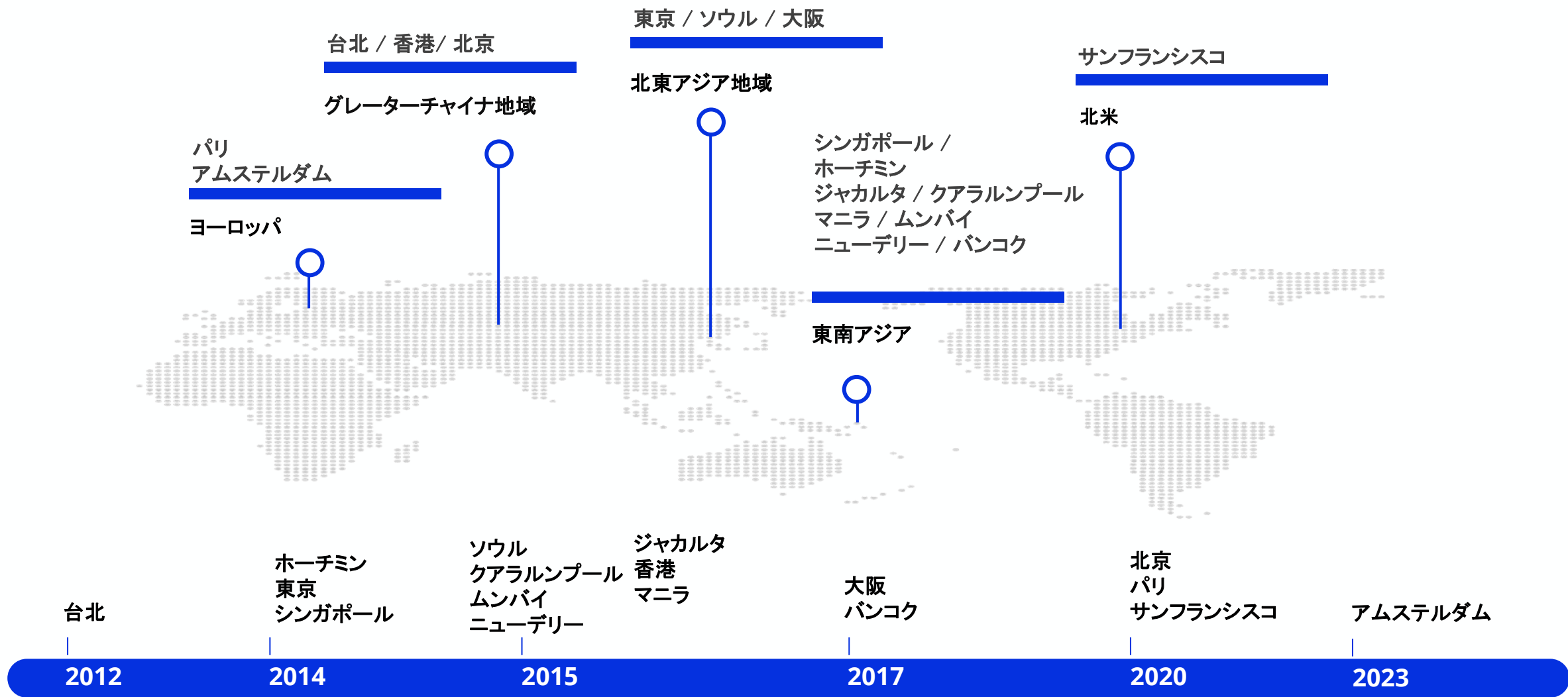
Gartner
(2017)

LINE Biz-Solutions
Tech Partner 2025

Gold

LINE台湾 Biz-Solutions
Gold Partner
(2025)

Appierのグローバル展開: 全世界17拠点

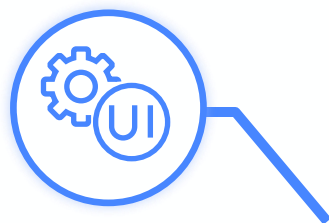


AIによる事業運営の変革

生成AIによる プロダクトの差別化

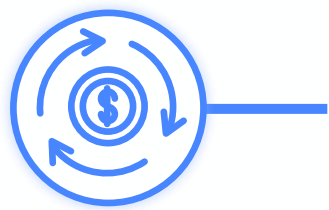
ROIドライバー

大規模なパーソナライズされた
コンテンツと予測可能なROI
(広告クラウド)



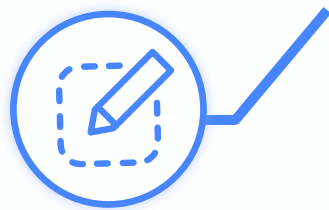
AIが新たなUIに

自然言語インターフェース
による使い勝手の向上
(プロダクトを横断した
コパイロットモード)



生産性の向上

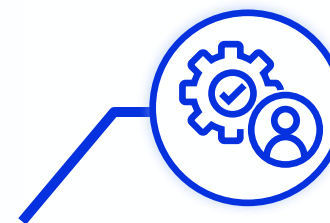
ノーコードかつAIを活用した
プログラミングで効率性を向上
(パーソナライゼーションクラウド)



真のAI組織

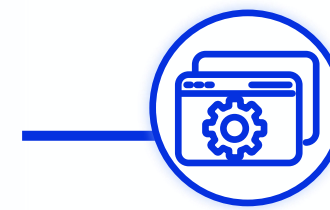
プロダクト開発AI

イノベーションの強化と
市場投入期間の短縮を実現



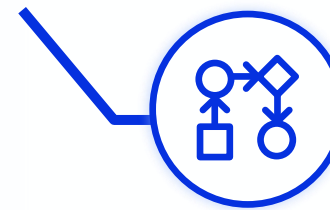
顧客マネジメント

顧客に一貫した質の高い
サービスをタイムリーに提供



ワークフロー標準化

AIを活用した学習により、安定した
オペレーションとサービス水準
を確保



ファーストパーティーデータ中心の世界でAIはより重要な存在に

ファーストパーティーデータのみを活用

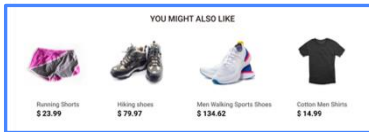
主な差別化要因

- リアルタイム予測
- 少量のデータからの正確な予測

ユーザーの行動によって生じる
ファーストパーティーデータ



リアルタイムでユーザーの好みを予測



リアルタイムのAI レコメンデーション



リアルタイムで行動パターンを学習



価値のあるユーザーを発見

サードパーティーデータを活用



サードパーティークッキーマッピングに
基づく広告コンテンツの配信



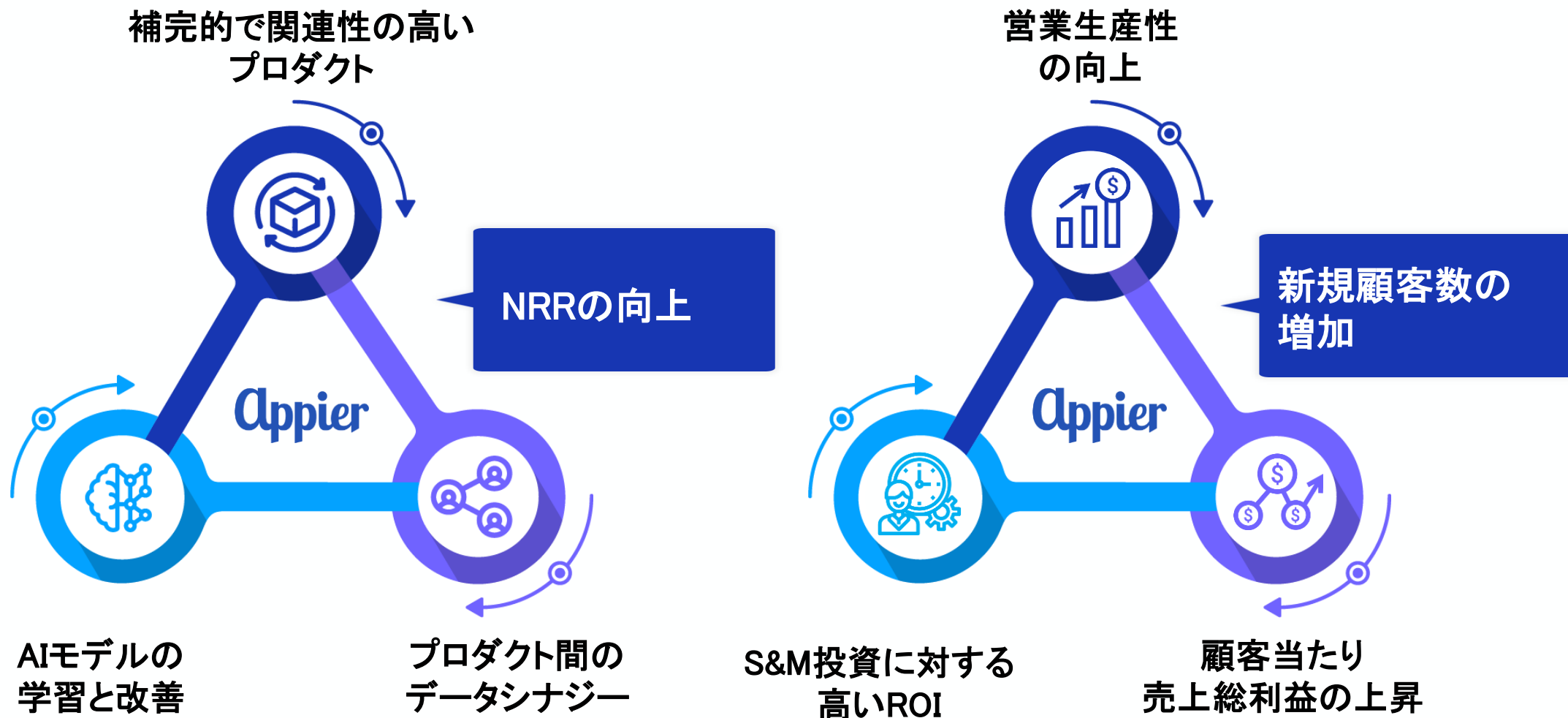
サードパーティー
IDの同期



サードパーティー
データベース

ユーザーの興味関心を知るために、
ウェブサイトをもたぎユーザーを追跡・識別

プラットフォームの価値を高めるAppierの強力なネットワーク効果



事業成長見通し: 強固な顧客基盤



リターン重視のソリューション

景気後退への強い耐性

- 顧客のマーケティング費用に対し、予測可能なリターンを提供
- 当社のソリューションは、80%以上の顧客企業の直接的な収益及び利益に貢献



ファーストパーティデータのトレンド & AIに対する意識の向上

継続的な事業拡大

- ファーストパーティデータは、個人情報規制の厳格化への対応に重要な役割を果たし、特に米国及びEMEA地域において事業拡大が加速
- AIの認知度向上がプロダクトの価値を明確にし、事業成長を推進

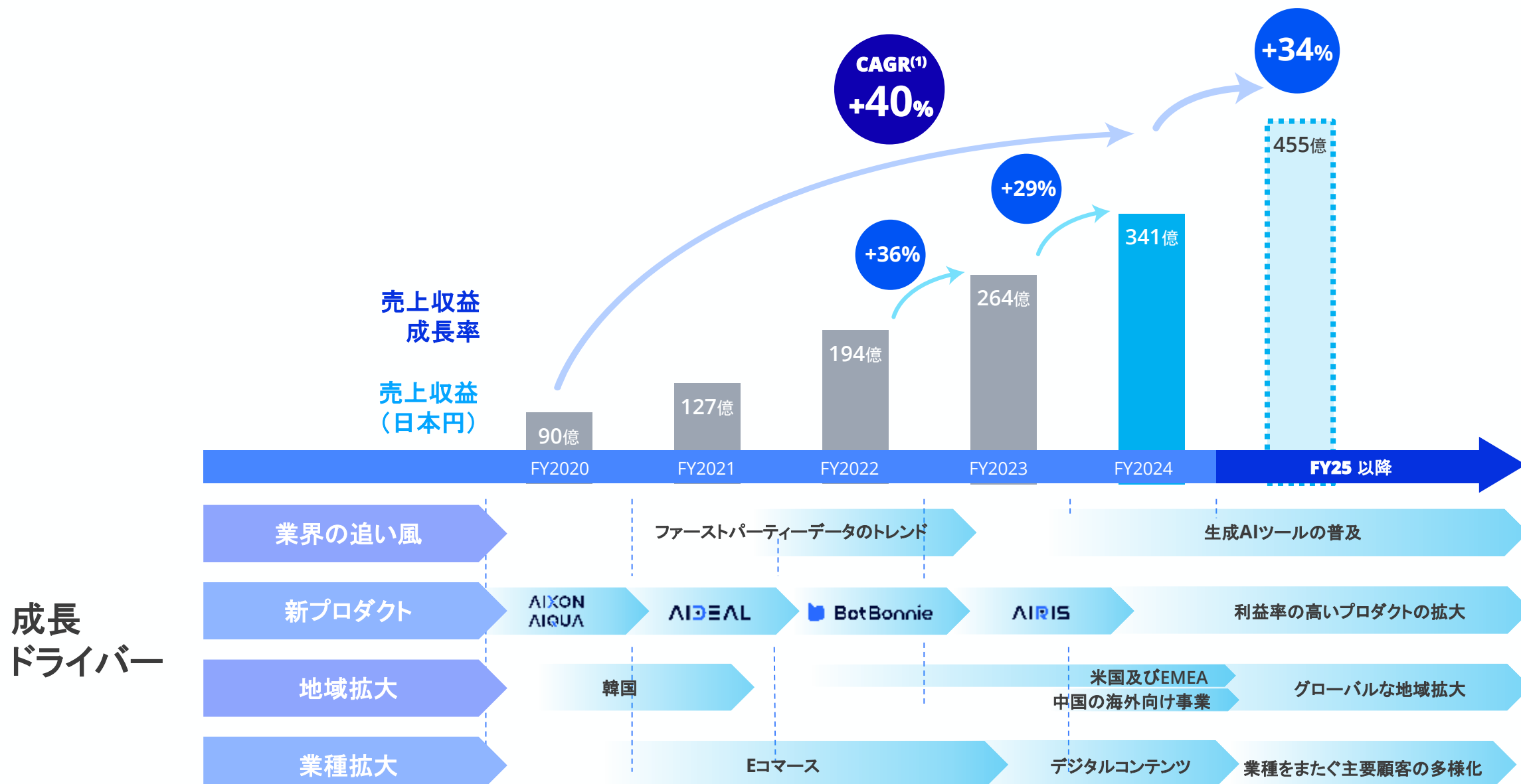


大規模なエンタープライズ顧客 & 多様な顧客業種

より高い事業の安定性

- 年間売上100億円以上の顧客が、当社売上収益の90%以上を占有
- EコマースとデジタルコンテンツというTAMの大きな2つの強力な業種の成長エンジンにより、変化の激しく不確実性の高いマクロ環境に対応できる

成長ドライバーを毎年追加することで、利益を伴う成長を実現

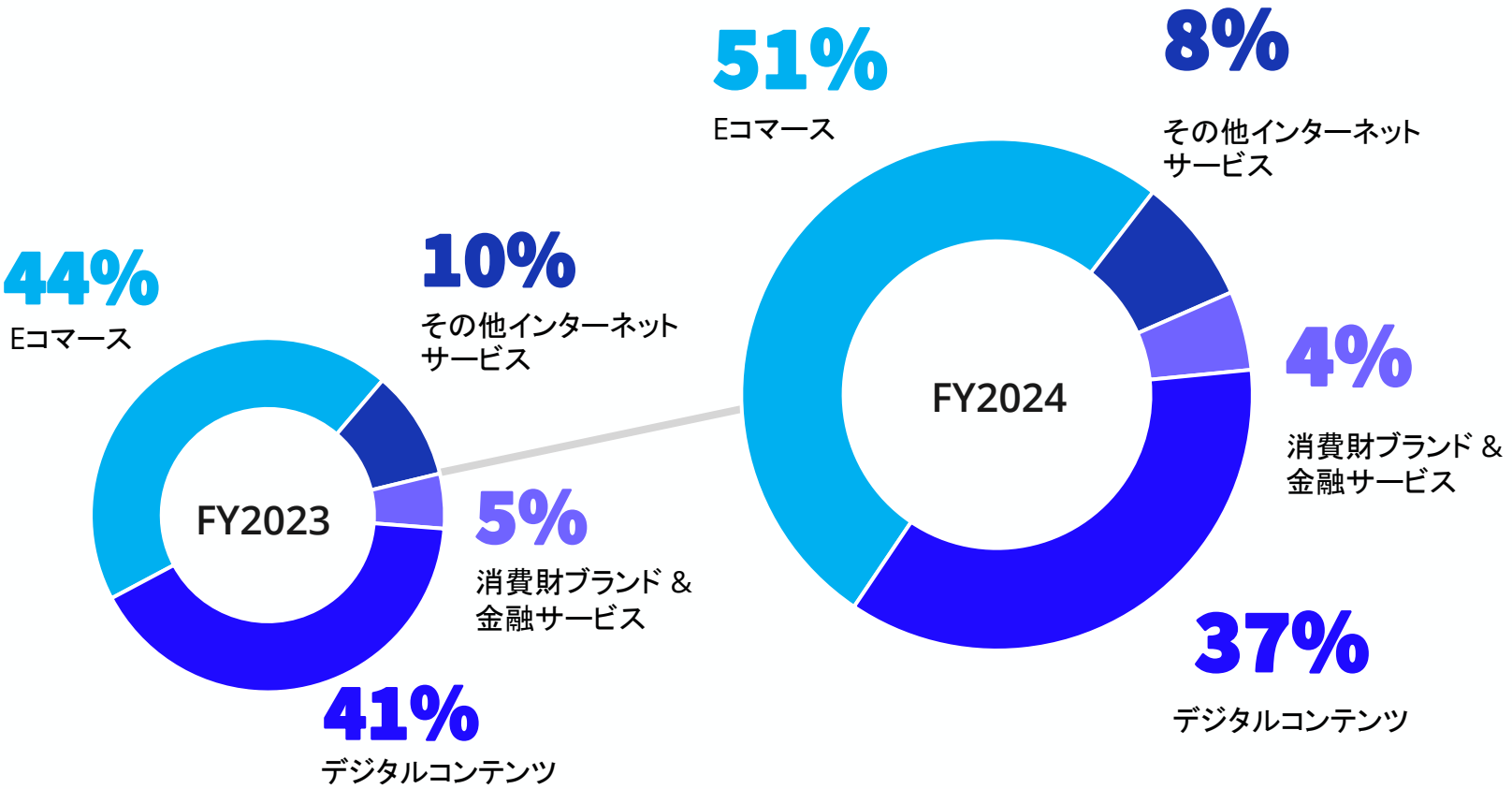


©Appier Group, Inc. (along with its subsidiaries) All rights reserved.

(1) FY20 からFY24への年平均成長率 (CAGR)

業種拡大による継続的な成長モメンタム

業種と地域の多様化により事業の季節性を緩和



Eコマース

- 新たな生成AI機能の提供により、Eコマース顧客が力強く拡大

デジタルコンテンツ

- 米国及びEMEAと韓国は堅調に成長し、中国企業の海外向け事業は年間を通じて好調な業績が継続
- 日本、台湾、香港ではFY24期末に向けて事業モメンタムが回復

事業成長の見通し: 注力する地域・業種

▶ 台湾 & 香港 - 各業種におけるシェア拡大

▶ 中国 - 海外向け事業におけるデジタルコンテンツの更なる拡大

Eコマース

★★

デジタルコンテンツ

★★

その他
インターネットサービス

★

その他

★★

グレートチャイナ

米国及びEMEA

Eコマース

★

デジタルコンテンツ

★★★

その他

★★

インターネットサービス

その他

★

▶ デジタルコンテンツ以外の業種に拡大

▶ デジタルコンテンツのシェア拡大

北東アジア

Eコマース

★★★

デジタルコンテンツ

★★

その他
インターネットサービス

★★

その他

★

▶ 日本 - 各業種におけるシェア拡大

▶ 韓国 - デジタルコンテンツへの拡大、Eコマースでのシェア拡大

現在の収益貢献による分類:

★★★ 高い収益貢献

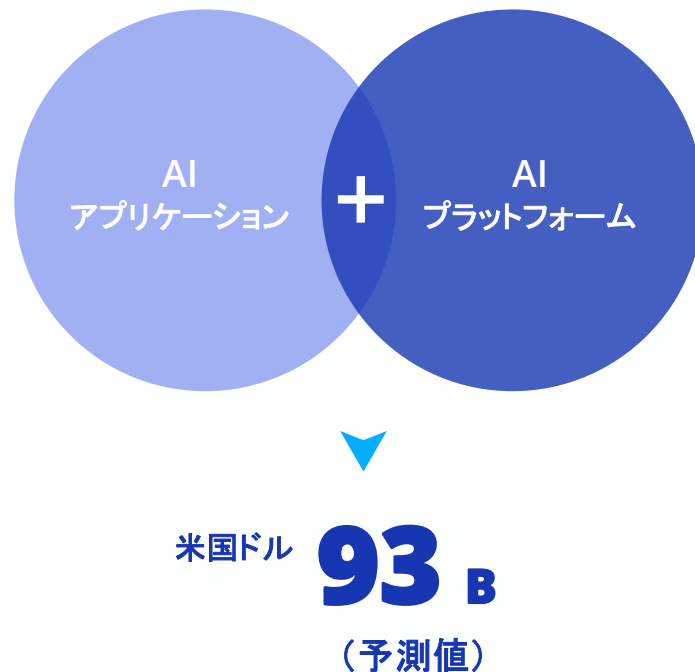
★★ 中程度の収益貢献

★ 低い収益貢献

巨大な市場機会

トップダウン予測 2025年

IDC (1)



ボトムアップ予測 2025年



(1) 出所: IDC Worldwide Artificial Intelligence Platforms Software Forecast, 2024–2028; IDC Worldwide Artificial Intelligence Software Forecast, 2023–2027

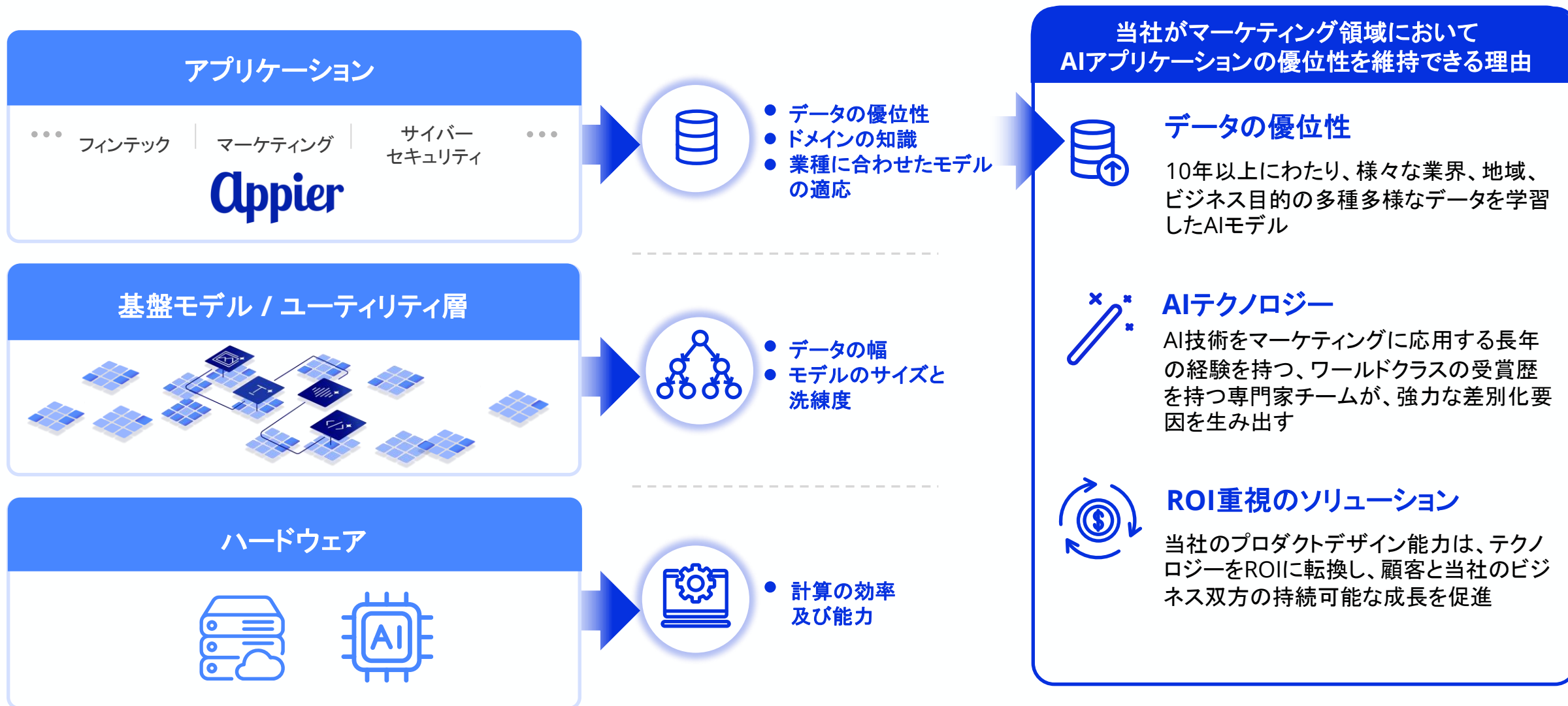
(2) 年換算売上収益 = FY24の円建ての売上収益 / 為替レート 151.4

(3) 社内の見積により算出。APACのマーケティング投資のうち、当社のシェアはECで約3.3%、デジタルコンテンツで約3%、その他で約1%。マーケティング投資のうち、ECが30%、デジタルコンテンツが20%を占める。APACのマーケティング投資のうち当社は約2.1%のシェアを持つ。グローバルのマーケティング投資のうち1/3をAPACが占めている。

プロダクト

AI業界におけるAppierのポジション

- AIアプリケーションの領域における当社のユニークなポジションは、データの優位性、差別化されたアルゴリズム、ドメインの知識により強化されている。



プロダクト開発戦略

当社の技術を活用した革新的な
生成AIアプリケーションにより
顧客のROIをさらに向上



独自のデータを活用して複数の分野でイノベーションを
起こすことにより、エンドユーザー向けアプリケーション
の差別化を推進し、競争力を向上

最先端の
生成AI/LLM
イノベーション



シームレスな自然言語インターフェースにより
顧客のワークフロー自動化と
生産性の向上を支援



プロダクト間のシームレスな統合により
効率と成果を高め、顧客価値を向上

Appierが選ばれる理由

既存のソリューション

マニュアルによるA/Bテスト

- 予算の浪費につながり、機械よりも効率性を向上させることが難しい

マーケティングクラウドソリューション

- 主に過去の行動に基づき反応するアプローチ

ユーザーを複数のグループに分類し、それぞれ異なるインセンティブを提供

- インセンティブの浪費により収益性を損ない、満足なトップラインの成長を実現できない

AIベンダーやデータサイエンティストチームによる内製化

- スケールが難しく、コストが高くなる可能性

潜在ユーザーの
予測及び獲得



ユーザーの維持及び
関係構築



取引の実行



ユーザーの予測



顧客がAppierを選ぶ理由

Cross
AIXPERF

- 機械学習モジュールが、高いライフタイムバリュー（顧客生涯価値）のユーザーを予測
- 投資に対するリターンが期待できる最も価値の高いユーザーを獲得

AIQUA
BotBonnie

- エンドユーザーの潜在的な行動を予測し、最適な方法で積極的なユーザーの囲い込みを実施
- 全てのメッセージングチャンネルにおける、緊密に統合されたAIによる完全自動化ソリューション
- BotBonnie: インタラクティブな会話型マーケティングチャットボットソリューション

AIIDEAL

- エンドユーザーの行動パターンからAIが購入をためらうユーザーを特定し、その者に対してのみインセンティブを配布
- インセンティブやクーポンコストを減らしながら売上増加を実現

AIXON
AIRIS

- 差別化された最高品質のAI予測モデルを構築する自動化された機械学習モデルをSaaSを通じて提供
- ビジネスユーザーは、研究者やエンジニア無しに、AIによる分析を活用することが可能
- 優れた分析力と直感的なデータの可視化によりインサイト取得までの時間を大幅に短縮

▶ 潜在ユーザーの
予測及び獲得



ユーザーの維持及び
関係構築



取引の実行

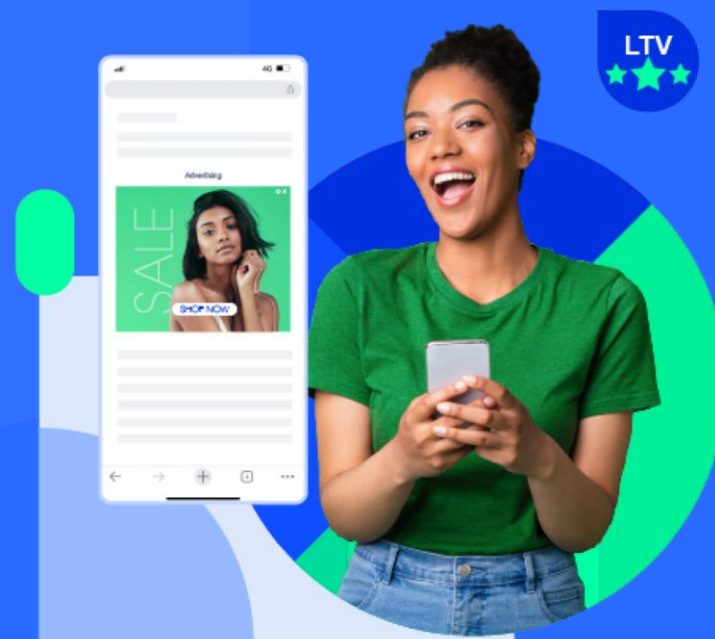


ユーザーの予測



CrossX

CrossXは、機械学習とディープラーニングを活用し、ユーザーのライフタイムバリュー（生涯価値）を予測し、最も価値の高いユーザーを獲得することを可能にすることで、マーケティング投資を予測可能なリターンに転換

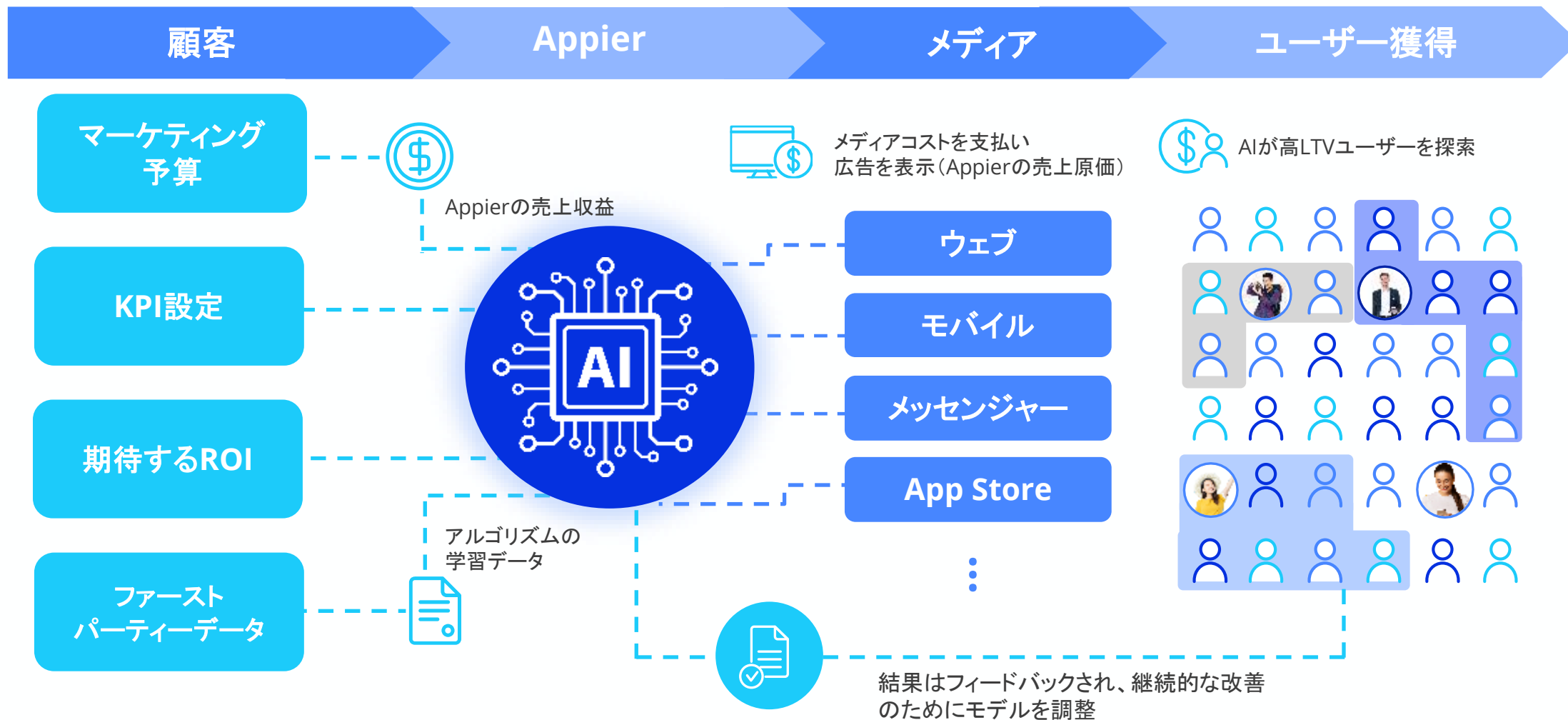


機械学習とディープラーニングによる
高いライフタイムバリューを有する
エンドユーザーの予測

最も価値の高いユーザーを
広範に獲得

予測可能なリターンの提供

CrossXの仕組み - ROI向上のためのAIによる完全自動化



AIの強み: デジタル広告に予測可能性と正確性をもたらす



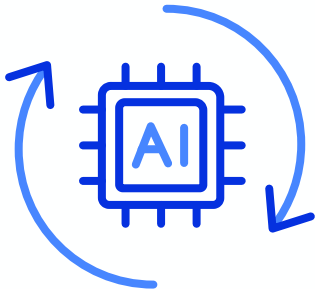
高い可視性とリターン

顧客は支出する前に
リターンを把握でき
全体的なリターンが向上



アップセルの機会

予測可能なROIにより
CrossXの利用量が拡大



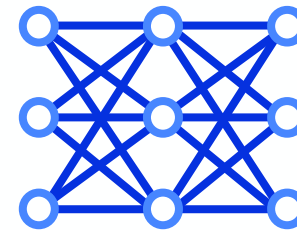
技術的優位性

当社のAIは様々な地域・業種の
マーケティングデータを
10年超学習



参入障壁

蓄積されたデータ学習で
AIの精度を向上



自動アルゴリズム探索

継続的な研究開発により
予測精度を改善し
最先端の技術を維持



顧客とWin-Winの関係

顧客のROI向上と
Appierの売上収益成長

ROASの高い優良ユーザーを安定的に獲得することで成長を促進

成功事例 - グローバルな大手ゲーム会社

目標

- ゲーム発売初期に、ゲームタイトルに興味を持つ価値の高いユーザーを獲得し、インストールを促進
- 一定レベルのROASと継続率を達成

ソリューション

- Appier独自のAIオーディエンスモデルを活用し、ユーザーのアプリ内行動やゲームアプリの属性データ、マーケティング画像を分析し、質の高いユーザーを特定
- アプリ内課金、ゲームのクリアレベル、ゲームアプリを開くパターンなど、ゲーマーの行動を分析し、リターゲティングに活用

Appierの新規ユーザー向けAIオーディエンスモデル

将来的にCVRとROASが高くなるユーザーをリターゲティング

アプリ内でのユーザー行動

アプリに高い関心を持つユーザーを獲得し、ROASを向上

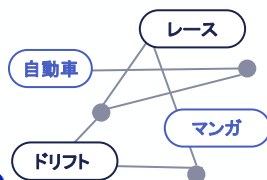
ユーザーのLTV⁽¹⁾を向上

グラフィックススタイル



- マンガ風
- 3Dビジュアル
- ファンタジー

アプリの属性データ

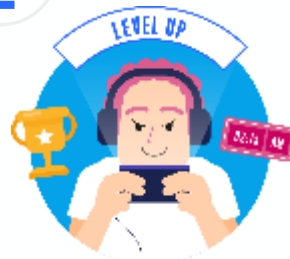


Day
1



初日のリテンション
確保

Day
2



レベル20の
達成

+6.9%

Day
7



アプリ内購入

+1.4x

Day
30

Day
45



CVR⁽²⁾

購買イベント

+55%

+16%

潜在ユーザーの
予測及び獲得



▶ ユーザーの維持及び
関係構築



取引の実行



ユーザーの予測



AIQUA

AIQUAは、自社のあらゆるコミュニケーションチャネルを最適なタイミングで活用し、AIによってパーソナライズ化された、プロアクティブで効果的なメッセージを用いて、エンドユーザーとのエンゲージメントの質を向上させることを可能に



マルチチャネルでの
メッセージ送信

AIが生成する
メッセージ

送信時間の
最適化

予測セグメントを用いた
積極的なアクション

潜在ユーザーの
予測及び獲得



ユーザーの維持及び
関係構築



取引の実行



ユーザーの予測



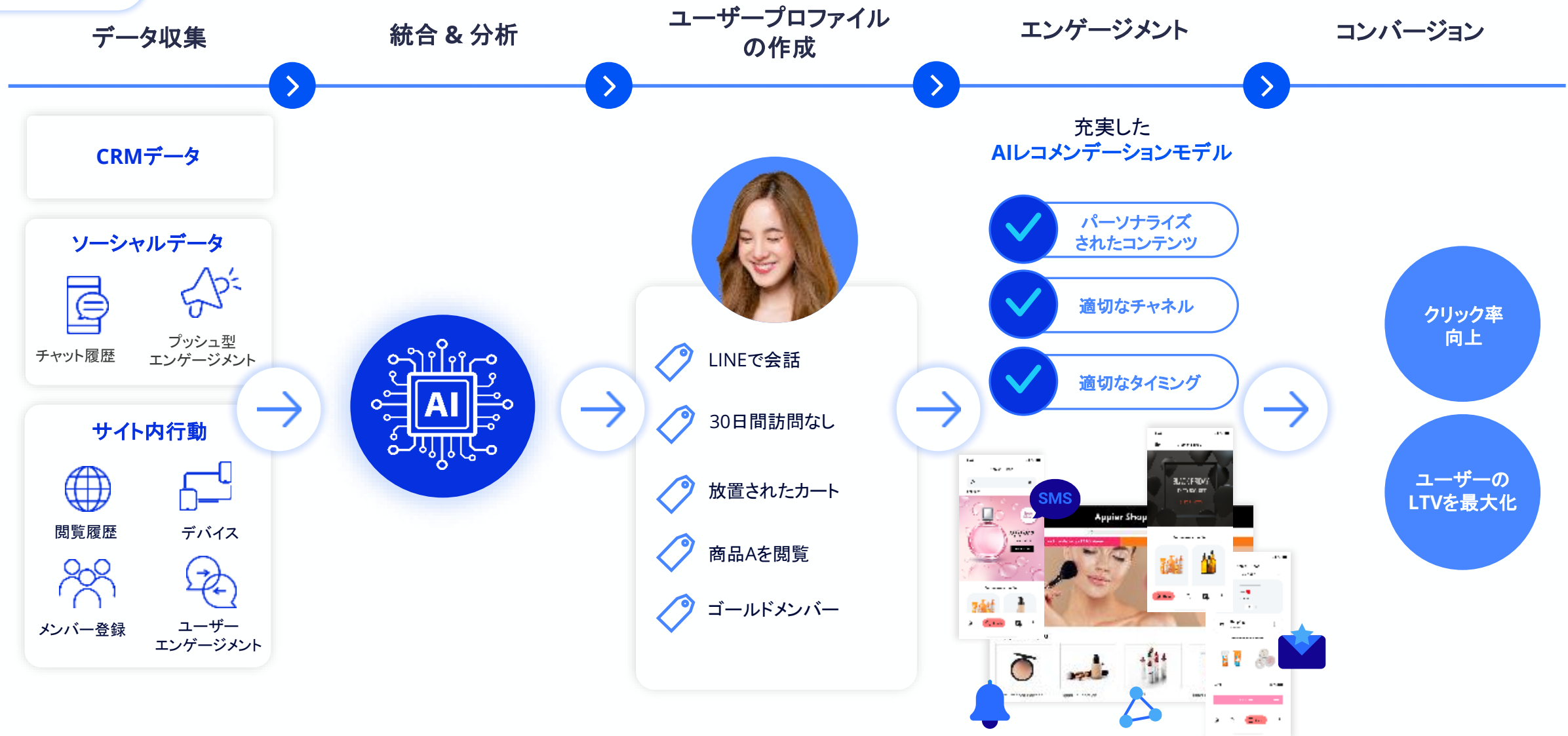
BotBonnieは最も人気のあるメッセージングプラットフォーム上に構築された
会話型マーケティングソリューション
LINE、Facebookメッセージ、Instagram、WhatsApp、ウェブサイト、Googleビジ
ネスメッセージなど、フォロワーのポテンシャルを最大限に活用



マーケティング担当者がノーコードで迅速な
メッセージを配信できるソリューション

ゲームを応用したマーケティングモジュールを
構築し、魅力的な顧客体験によりコンバージョンを促進

パーソナライズされたエンゲージメントにより高い成果を実現



主な強み



AIレコメンデーション モデルにより ROIを最適化

高度にパーソナライズされた
ユーザー体験を提供し
コンバージョン率を高め
ユーザーのLTVを最大化



AIの予測精度により 顧客エンゲージメントを 最大化

最適なタイミングを予測し
適切なチャネルを通じて
パーソナライズされたコンテンツ
を配信することで
効果と効率性を高める



意思決定AIにより 生成AIの効果を高める

生成AIを意思決定AIにより評価し
魅力的なマーケティングコンテンツ
を生成することにより
優れた成果を実現

潜在ユーザーの
予測及び獲得



ユーザーの維持及び
関係構築



取引の実行



ユーザーの予測



AIDEAL

AiDealによって、企業は機械学習と深層学習を活用しユーザーの行動パターンから購入を躊躇するユーザーを予測可能に。それらのユーザーに限定してインセンティブを提供することで、収益性を維持しつつ売上の最大化を実現



機械学習と深層学習を活用した
購入確度の予測

最適なインセンティブを
即座に提供

リアルタイム分析

最適なインセンティブ提供で購買意思決定を促進

購入を躊躇しているユーザーを予測し、収益性を維持しながら、最も効果的なインセンティブを配布

ウェブサイトへの
アクセス

行動分析

ユーザーの意図
を特定

トリガーアクション

トリガーイベント



スワイプして戻る



「戻る」ボタン



下にスクロール



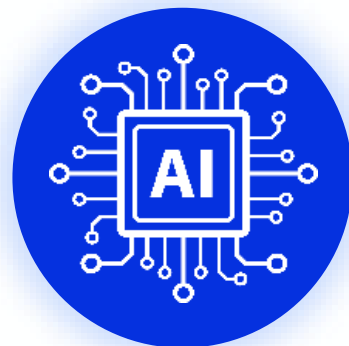
休止時間



トラフィックソース



閲覧したページ



AIが躊躇する購買者の
インサイトを発見

個人別の最適なオファーを
動的に決定



送料無料

初回訪問者



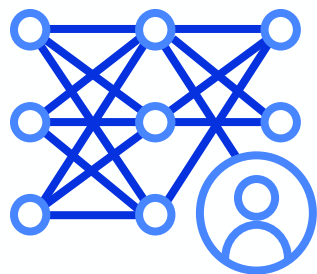
10% OFF

高価格商品の購入
を躊躇



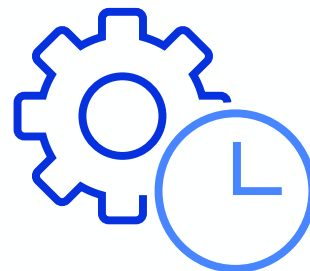
\$5 割引

バーゲンハンター



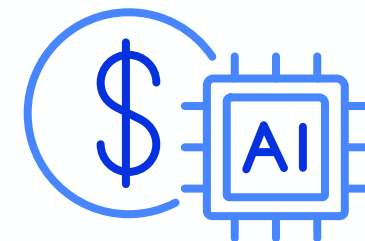
先進的なアルゴリズム によるユーザー行動分析

豊富なトレーニングデータにより
正確で信頼性の高い
アウトプットを生成



リアルタイムAI予測 によりROIを改善

躊躇している購買者を
リアルタイムに予測し
インセンティブを提供することで
同じ予算額でより高いROIを実現



カスタマイズされた インセンティブにより GMVを向上

AIが予測する最適なインセンティブで
決めかねているユーザーを
購買に誘導

潜在ユーザーの
予測及び獲得



ユーザーの維持及び
関係構築



取引の実行



▶ ユーザーの予測



AIXON

AIXONによって、企業は、自動構築される機械学習モデルを活用し、ユーザーの行動を全方位的に予測可能に。社内にAIテクノロジーシステムを構築する手間をかけることなく、自社が保有する消費者データの有効活用を実現



データの統合と自動処理

自動構築される機械学習モデルが
生成したシナリオに基づく予測

予測・提案の背景を
説明可能なAI

潜在ユーザーの
予測及び獲得



ユーザーの維持及び
関係構築



取引の実行



▶ ユーザーの予測



AIRIS

優れた分析力と直感的なデータの可視化により、インサイト取得までの時間を大幅に短縮したAI搭載CDP

ファーストパーティデータで360度の堅牢な顧客プロフィールを構築し、あらゆる顧客との接点への影響度を可視化・測定することで、投資を行う前にリターンを予測することが可能



シームレスなデータ統合による
360度の顧客プロフィール

瞬時にデータを可視化

迅速なデータ分析による予測

AI搭載CDPでビジネスの成長を後押し



仮定

インサイトを得る
までの時間

データの分断

市場投入時期

マーケティング担当者の悩み

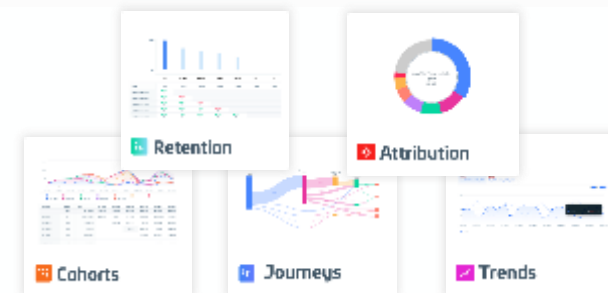
リアルタイムのデータ取り込み

- 複数のソースからデータを取り込み、不備を修正し、整理する
- AIを活用して統合された360度の顧客プロフィール



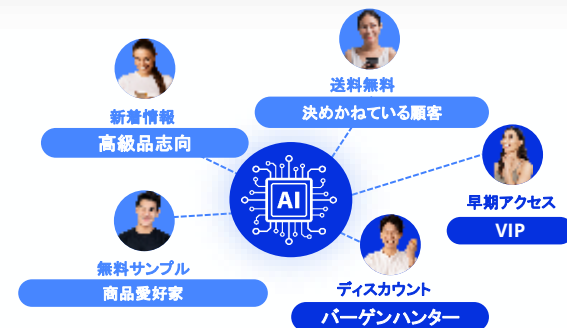
ノーコードで最速のビジュアル化分析

- カスタマイズ可能なビジュアル化機能を備えたテンプレートからインサイトダッシュボードをすばやく構築し、組織全体のデータを可視化



AIを活用した顧客の予測

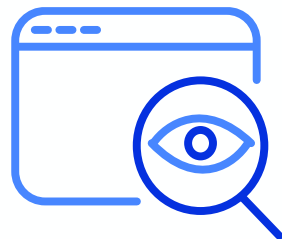
- マーケティング担当者は、顧客の行動予測に基づき、ユーザーの優先順位付けやターゲティングを行うことが可能
- 正確なセグメンテーションにより、高度にパーソナライズされたエンゲージメントを実現





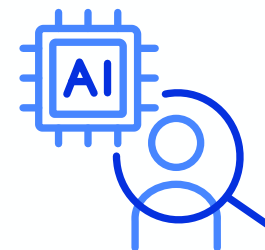
シームレスなデータ取込み 瞬時にインサイトを取得

リアルタイムのデータ統合により
匿名のアクションであっても
各ユーザーの360度ビューを提供



ノーコードでビジュアル化 最速でアクションを実行

インサイトを可視化し
あらゆる接点における影響を測定し
必要なアクションを起こす



AIによるインサイトを 活用した積極的な ユーザーエンゲージメント

AIがエンドユーザーの行動を
リアルタイムで予測し
効果的な獲得/エンゲージメント
戦略を立案

財務データ

財務データサマリー

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	2024 Q1 3ヵ月	2025 Q1 3ヵ月	YoY	2022	2023	2024	YoY
売上収益	7,374	9,352	26.8%	19,427	26,418	34,057	28.9%
売上原価	(3,562)	(4,547)		(9,428)	(12,710)	(16,255)	
売上総利益	3,812	4,805	26.0%	9,998	13,708	17,802	29.9%
売上総利益率	51.7%	51.4%		51.5%	51.9%	52.3%	
販売及びマーケティング費用	(2,328)	(2,855)		(6,394)	(8,263)	(9,682)	
対売上収益比率	31.6%	30.5%		32.9%	31.3%	28.4%	
研究開発費	(995)	(1,233)		(2,284)	(3,141)	(4,650)	
対売上収益比率	13.5%	13.2%		11.8%	11.9%	13.7%	
一般管理費	(497)	(705)		(1,602)	(1,829)	(1,850)	
対売上収益比率	6.7%	7.5%		8.2%	6.9%	5.4%	
その他の収益	76	66		334	334	390	
その他の費用	(3)	(5)		(2)	(9)	(29)	
営業利益	65	73		50	801	1,981	
営業利益率	0.9%	0.8%		0.3%	3.0%	5.8%	
金融収益	120	45		213	547	448	
金融費用	(105)	(56)		(153)	(285)	(367)	
税引前利益	80	62		111	1,063	2,062	
法人所得税費用	(23)	(27)		(90)	(61)	865	
当期利益	57	35		21	1,002	2,927	

基本的1株当たり当期利益(円)

0.56 0.34 0.21 9.85 28.70

希薄化後1株当たり当期利益(円)

0.56 0.34 0.21 9.75 28.47

©Appier Group, Inc. (along with its subsidiaries) All rights reserved.

財務データサマリー

連結財政状態計算書

(単位: 百万円)	2023	2024	2025 Q1
現金及び現金同等物	6,134	5,496	4,990
定期預金	8,004	6,727	2,825
その他の金融資産(流動資産) ⁽¹⁾	4,940	5,794	6,350
手元流動性	19,078	18,017	14,165
売上債権 ⁽²⁾	5,355	9,361	10,585
その他の流動資産	496	621	764
流動資産合計	24,929	27,999	25,514
使用权資産(リース資産) ⁽³⁾	2,686	2,197	1,953
のれん及び無形資産 ⁽⁸⁾⁽⁹⁾	9,347	12,528	18,017
繰延税金資産 ⁽¹¹⁾	190	1,117	1,058
その他の非流動資産	700	796	811
非流動資産合計	12,923	16,638	21,839
資産合計	37,852	44,637	47,353

(単位: 百万円)	2023	2024	2025 Q1
契約負債、営業債務	2,610	3,524	3,542
その他の債務 ⁽⁴⁾⁽¹⁰⁾	2,546	2,736	5,222
リース負債 ⁽³⁾⁽⁵⁾	2,747	2,279	2,032
借入金	600	1,500	3,551
その他	258	283	388
負債合計	8,761	10,322	14,735
株主資本 ⁽⁶⁾	22,963	25,153	25,052
その他の資本の構成要素 ⁽⁷⁾	6,128	9,162	7,566
資本合計	29,091	34,315	32,618

(1) 資金運用目的で短期・低リスクの債券を保有

(2) 売上債権 = 営業債権 + 契約資産

(3) リース資産とリース負債はオフィス賃貸に関するものであり、資産と負債が両建てで計上される

(4) 「その他の債務」には、連結財政状態計算書の「その他の債務」と「その他の非流動負債」が含まれる

(5) 流動負債と非流動負債のリース負債合計

(6) 株主資本 = 資本金 + 資本剰余金 + 自己株式 + 利益剰余金

(7) その他の資本の構成要素は主に日本国外の子会社の財務諸表の外貨換算差額。円高になると金額が減少する

(8) 無形資産は主に資産計上の要件を満たす開発コストの資産計上額

(9) AdCreative.aiの買収に伴いのれんが増加

(10) その他の債務はM&Aに関連する条件付取得対価に係る負債を計上したことにより増加

(11) 2024年12月期の繰延税金資産は、収益性改善の見通しを反映し、繰越欠損金に係る繰延税金資産を計上したことにより増加

財務データサマリー

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)		2023	2024	2025 Q1
営業活動によるキャッシュ・フロー	(A)	2,224	1,929	-1,164
運転資本の増減を除く営業CF		2,950	4,828	1,042
運転資本の増減 (4)		-726	-2,899	-2,206
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,971	-2,241	-801
無形資産の取得による支出	(B)	-3,229	-4,191	-1,130
子会社の取得による支出		-381	-	-2,520
定期預金の払戻、預入		6,585	2,087	3,662
その他の金融資産(流動資産)(2)の取得、売却		-817	-78	-
その他 (5)		-186	-59	-813
財務活動によるキャッシュ・フロー		-2,250	-792	1,617
現金及び現金同等物の為替変動による影響		385	466	-158
現金及び現金同等物の増減額		2,330	-638	-506
現金及び現金同等物の期末残高		6,134	5,496	4,990
コア・フリー・キャッシュ・フロー(1)	(A)+(B)	-1,005	-2,262	-2,294

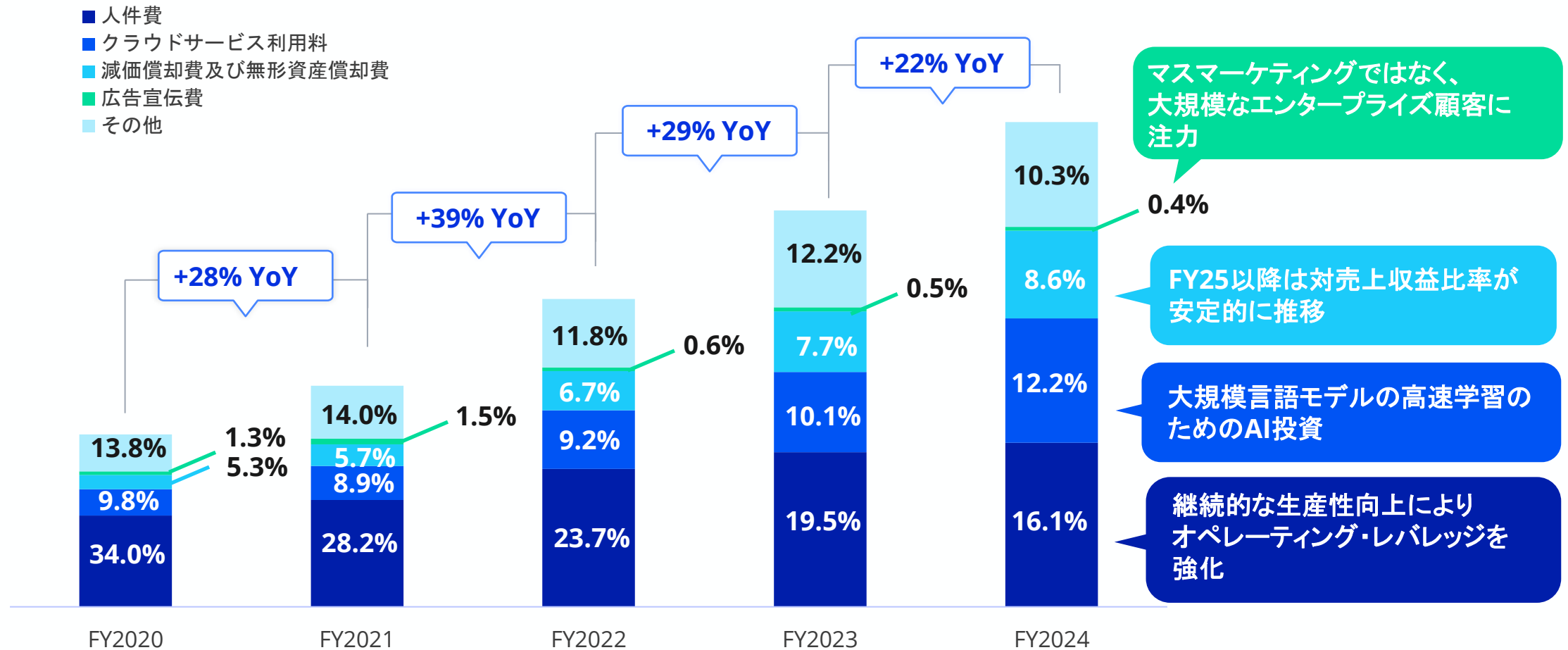
(1) コア・フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 無形資産の取得による支出
(2) 資金運用目的で短期・低リスクの債券を保有
(3) 有形固定資産の取得による支出、子会社の取得による支出、保証金の差入による支出
(4) FY25 Q1はシンガポールの祝日の影響で運転資本が増加
(5) FY25 Q1はM&Aに係るエスクロー預託金の預け入れにより増加

手元流動性の変動

(単位: 百万円)	2023	2024	2025 Q1
手元流動性の残高	19,078	18,017	14,165
現金及び現金同等物	6,134	5,496	4,990
定期預金	8,004	6,727	2,825
その他の金融資産(流動資産)(2)	4,940	5,794	6,350
手元流動性の変動	-2,235	-1,061	-3,852
コア・フリー・キャッシュ・フロー(1)	-1,005	-2,262	-2,294
子会社の取得による支出	-381	-	-2,520
その他の投資活動によるキャッシュ・フロー(3)	-186	-59	-34
財務活動によるキャッシュ・フロー	-2,250	-792	1,617
その他の金融資産(流動資産)(2)の公正価値評価	253	300	64
為替変動による影響	1,336	1,752	-685
現金及び現金同等物の為替変動による影響	385	466	-158
定期預金の為替変動による影響	656	810	-240
その他の金融資産(流動資産)(2)の為替変動による影響	294	476	-287

営業費用の主な構成要素

営業費用(百万円)& 対売上収益比率



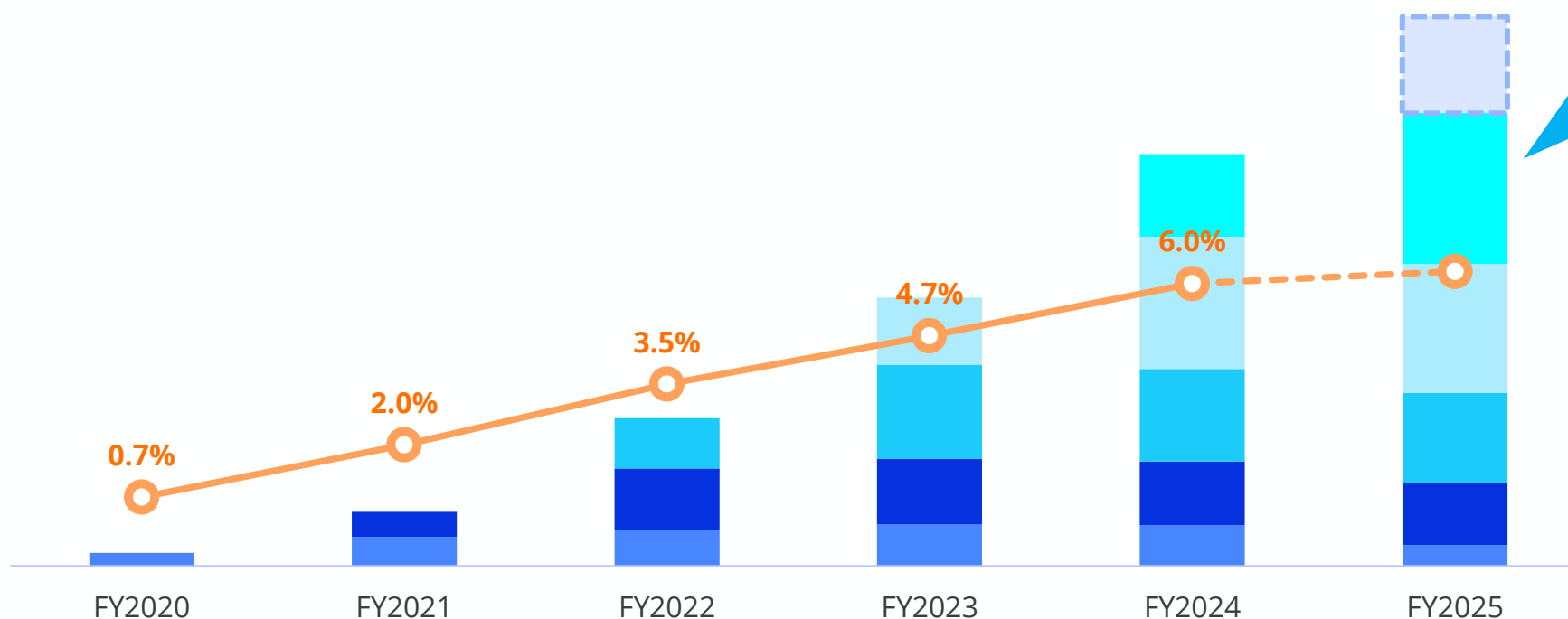
(1) "Others" includes commission fee, professional service fee, T&E and others.

ソフトウェア償却費

- 2020年にソフトウェアの資産計上を開始。ソフトウェア資産は5年間で償却される。

ソフトウェア償却費(百万円)& 対売上収益比率

■ FY20に資産計上 ■ FY21に資産計上 ■ FY22に資産計上 ■ FY23に資産計上
■ FY24に資産計上 ■ FY25Eに資産計上 ○ 対売上収益比率



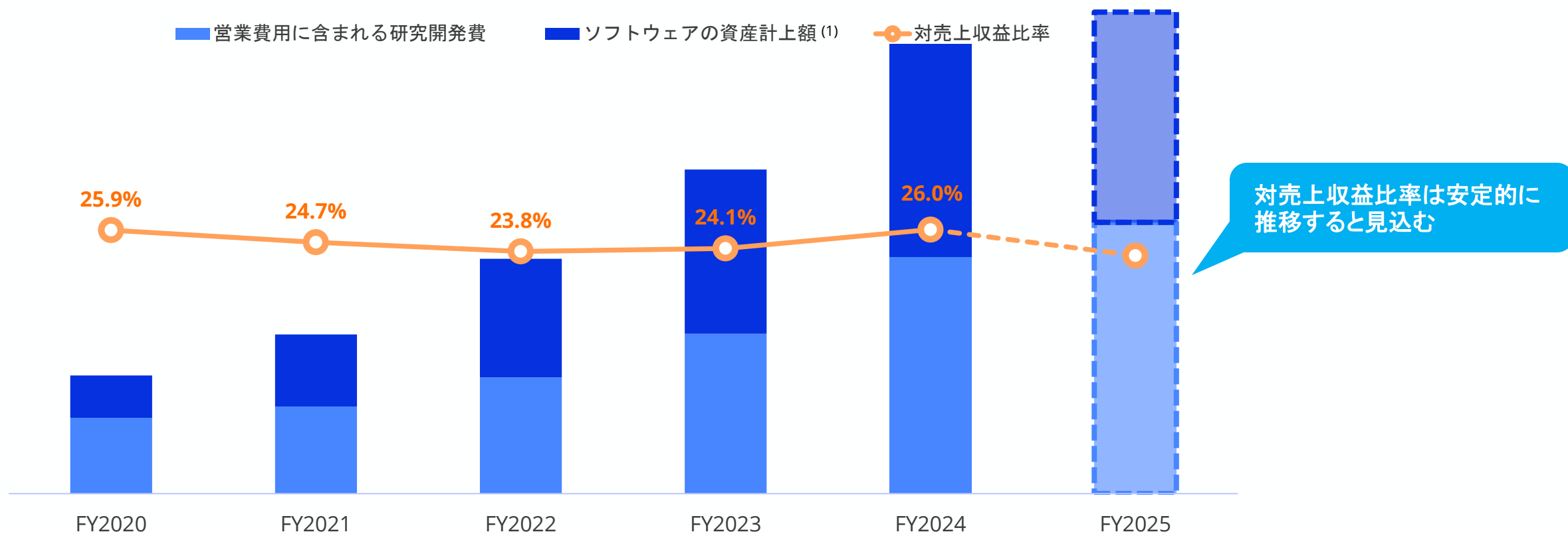
ソフトウェア償却費の
対売上収益比率はFY25以降
安定的に推移すると見込む

(1) FY24-FY25のソフトウェア償却費の対売上収益比率の計算には、FY24-FY25のソフトウェアの資産計上額が含まれる。

研究開発投資

- 生成AIによる事業機会が拡大し、研究開発投資の需要は高まっているが、規律あるプロジェクト管理により、研究開発投資総額の対売上収益比率は過去から安定的に推移

研究開発投資総額(百万円)& 対売上収益比率

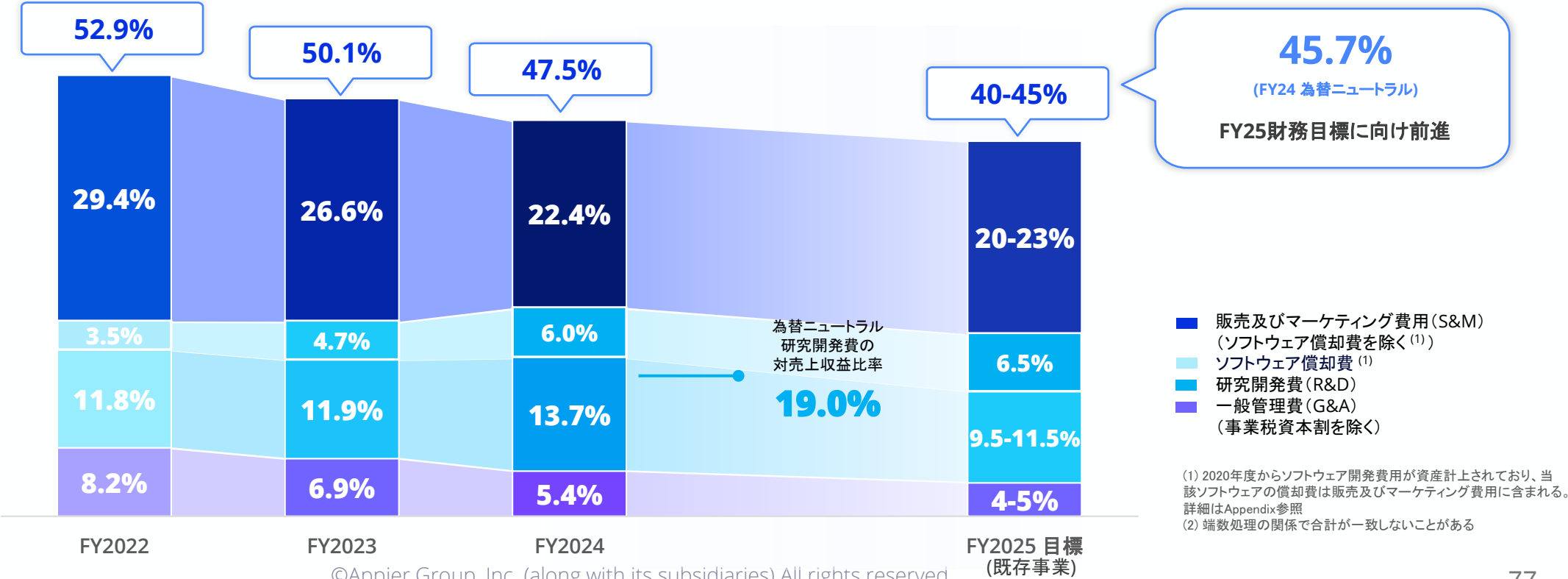


(1) ソフトウェアの資産計上額はキャッシュ・フロー計算書における「無形資産の取得による支出」を指す。

営業費用の継続的改善

- 為替の逆風にもかかわらず、強力なオペレーティング・レバレッジを達成。営業費用の対売上収益比率は前期比で2.6%ポイント、為替ニュートラルベースでは4.4%ポイント改善。営業費用の対売上収益比率は年間を通じて改善し続けると見込む。
- 販売及びマーケティング費用と一般管理費の対売上収益比率は、生産性の向上と業務効率化により改善。一方、ROI重視のプロダクト強化のためのAI投資の拡大に伴い、研究開発費の対売上収益比率は上昇。これにより長期的な利益を伴う成長と営業生産性の向上を加速。
- 継続的な効率化と生産性向上により、営業費用の対売上収益比率は40~45%まで低下すると見込む。

コスト構造(対売上収益比率)



FY25 財務目標と業績予想の比較

- 2022年5月の目標設定以降の為替変動の逆風を考慮すると、FY25の財務目標に向けて順調に進捗。
売上収益の成長は目標を上回り、規律ある研究開発投資の強化により、販売及びマーケティング費用と一般管理費のオペレーティング・レバレッジは想定を上回るペースで改善。

	FY25 財務目標	FY25 業績予想 為替ニュートラル ⁽¹⁾ (既存事業)	FY25 業績予想 (既存事業)	達成率	差異
FY21 - FY25 売上収益 CAGR	30%+(2)	32%	36%	✓	- 主要な地域である北東アジアと米国及び EMEAにおけるより力強い成長 - 円安による為替の追い風
売上総利益率	55-60%	56%	54%	✓	円安による為替の逆風にも関わらず、広告クラウドのアルゴリズム改善
営業費用	40-45%	43%	43%	✓	販売及びマーケティング費用と一般管理費のオペレーティング・レバレッジの改善
営業利益率 ⁽³⁾	15-20%	14%	11%		持続可能な成長に向けたプラットフォーム価値向上のための研究開発投資の強化
営業利益		52億円	48億円		円安による為替の逆風

(1) 為替レートがFY22Q1から変化していないという前提で計算
KRW: 1 KRW = 0.0973 JPY
USD: 1 USD = 116.20 JPY
TWD: 1 TWD = 4.15 JPY

(2) 2022年から2025年の売上収益成長率目標の平均
(3) 主に資金運用から生じるその他の収益を含む

(4) 端数調整の関係で合計が一致しないことがある

©Appier Group, Inc. (along with its subsidiaries) All rights reserved.

ESGの取組み

当社のコミットメント

MSCI
ESG RATINGS



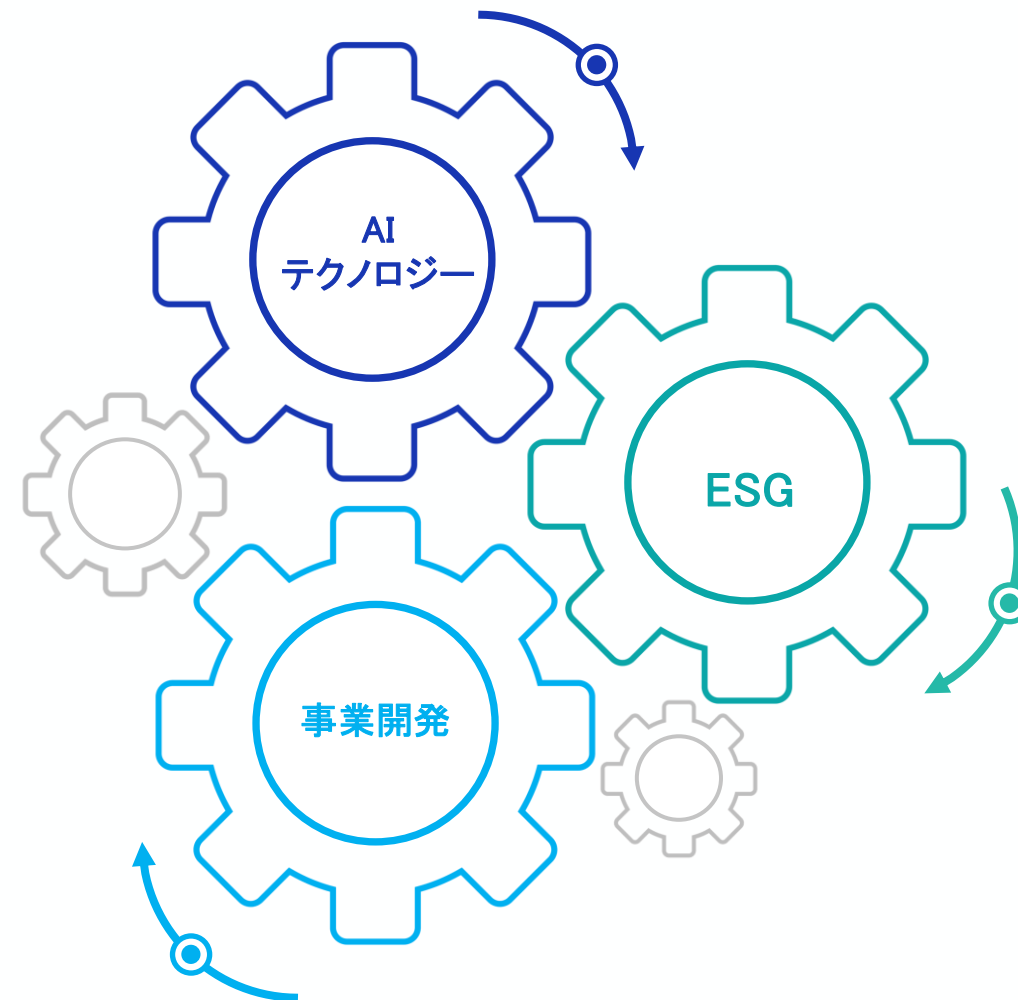
CCC B BB BBB A AA AAA

ESGをビジネスに組み込む

Appierは、AI搭載のエンタープライズソフトウェアによって、正確で自動化されたプロアクティブな意思決定が可能になる未来が訪れると考えています。

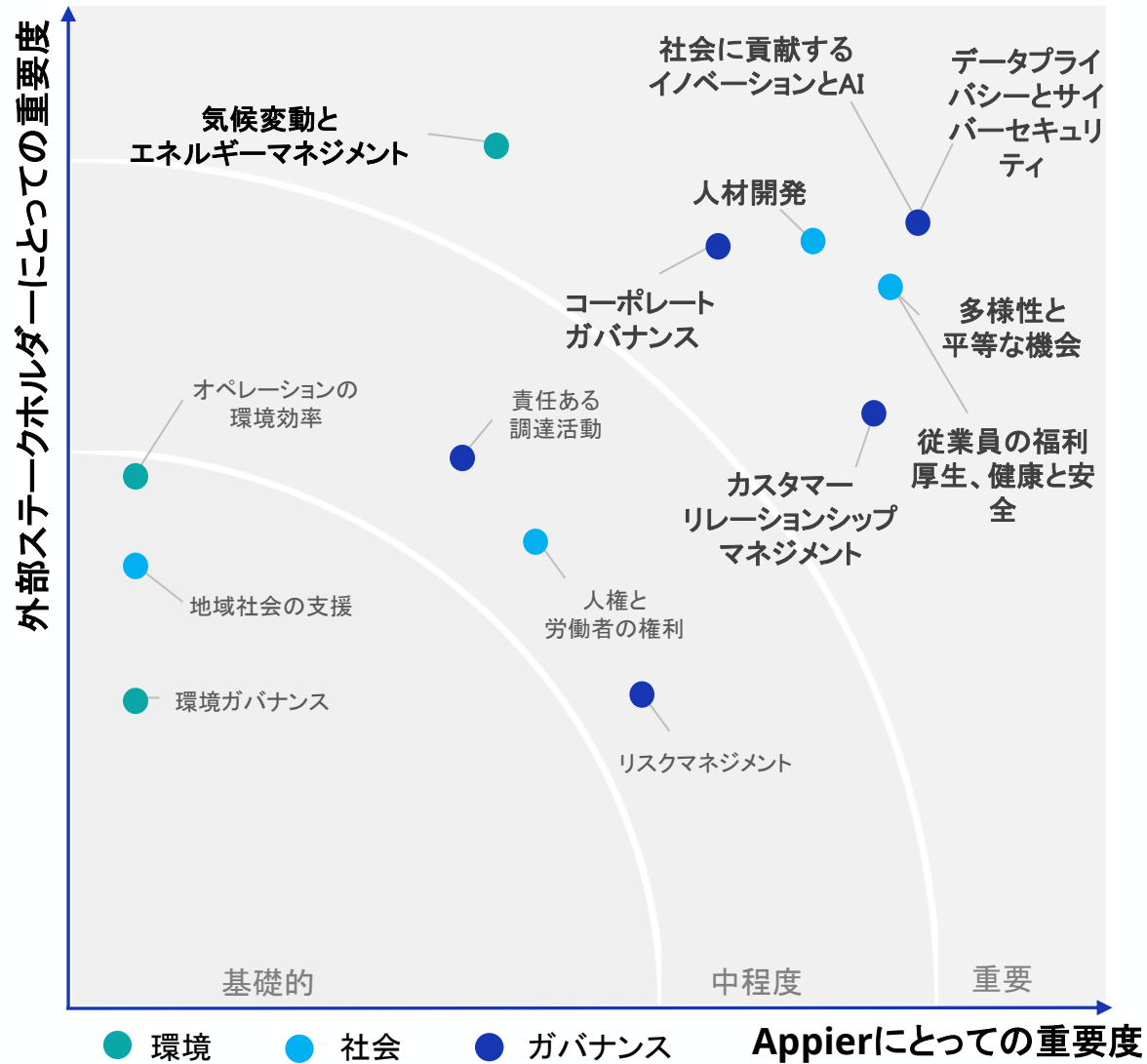
私たちは、ESGは持続可能なビジネスの構築に向けた課題の核心であると捉えています。高い水準のESGを実現するための活動は私たちのビジネスの将来像の一部であると考え、積極的にステークホルダーに関わっていくことを約束します。

MSCI ESG Research⁽¹⁾から「AA」評価を獲得し、今後もESGエクセレンスに向けて改善を続けていきます。



(1) MSCI ESG Researchでは、8,500社を超える世界の上場企業と少数の未上場企業について、業界特有のESGリスクへのエクスポージャーと同業他社との比較によるリスク管理能力に応じて、AAA(リーダー)～CCC(ラガード)の尺度でMSCI ESGレーティングを提供しています。MSCI ESGリサーチは、今日、主要なESG格付け機関の1つとして知られています。

ESGの優先順位を決定：マテリアリティ評価



当社のメソロジー

第三者機関と協働し、外部環境のトレンドや社内外のステークホルダーとの面談を含むステークホルダーとのエンゲージメントに基づき、優先的に取り組むべきサステナビリティに関する課題を特定しました。

環境・社会・ガバナンスのフレームワーク



環境 グリーンなオペレーション

- ＞ 事業活動による影響を最小化：
グリーン&サステイナブルオフィス
- ＞ 当社のAIソリューションがスマートな働き方を支援することで、顧客企業の温室効果ガス削減に貢献



社会 “Happier”な仲間

- ＞ 長期的な成長と持続可能性を重視する文化をコミュニティに構築
- ＞ 多様性、公平性、包括性をコアバリューとする
- ＞ テクノロジー / AI 業界の付加価値を高める熟練された人材の育成



ガバナンス セキュリティとプライバシー保護

- ＞ 経営層が関与する優れたガバナンスを構築するための方針
- ＞ ISO/IEC 27001:2013の認証を取得しデジタルセキュリティを確保

TCFDレポートの公表

環境に対する責任を果たす

TCFDレポート⁽¹⁾は、当社の環境に対する責任への強固なコミットメントの証です。

当社はこの世界的な気候変動への取り組みに沿った包括的な情報開示により、気候変動に関連するリスクと機会に対し、高い透明性をもって取り組んでいることを示しています。

事業を拡大する中で、サステナビリティは、より環境に優しい未来に向けたイノベーションの原動力となります。

(1) TCFDレポートへのリンク: <https://www.appier.com/ja-jp/greener-operation-appier>



ディスクレマー

本プレゼンテーション資料は、Appier Group株式会社（以下「当社」といいます。）及びその連結子会社に関する情報開示のみを目的として作成されており、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本プレゼンテーション資料には、将来の業績予想に関する記述が含まれています。将来に関する記述には、当社の将来の事業活動や業績、事象、状況を説明するために「信じる」、「予測する」、「計画する」、「戦略の策定」、「期待する」、「可能性」などの表現が含まれますが、これらに限定されるものではありません。将来に関する記述は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断に基づいています。したがって、これらの将来に関する記述には、様々なリスクや不確実性があり、将来に関する記述に含まれ又は示唆されているものから大きく異なることがあるため、将来に関する記述に過度に依存しないことが推奨されます。当社は、新たな情報、将来の事象、新たな発見に応じて、将来に関する記述を変更または修正する義務を負いません。

本プレゼンテーション資料に記載されている当社以外の会社に関する情報、あるいは外部の情報源から得られた情報は、一般に入手可能な情報から引用したものです。当社はこれらの情報の正確性や妥当性を独自に検証しておらず、これらの情報の正確性を保証するものではありません。
